

# 農教室特別コース 2025年度活動報告

手賀沼トラスト農教室特別コース

## 1. 2025年度活動報告

- ・2025年度は、退会2名、新会員7名の19名で、特別コースを運営しました。
- ・各自の圃場で、栽培計画にもとづく有機栽培を実践し、結果を栽培報告書にまとめました。  
また、課題作物として里芋(土垂)を栽培しました。
- ・'22年より開始した城址下協働圃場は、5年間の輪作計画に基づいた栽培を実施していましたが、会員数の増加に伴い個別圃場として4面を拡張し、残った1畝に大根を栽培しました。
- ・'22年より開始した浅野第五圃場では大豆を、'24年より開始した浅野第六圃場では、ヤーコン、じゃがいも→里芋(石川早生、海老芋、筍芋、土垂、八つ頭)、白ねぎ、大根、人参の中規模の有機栽培を行い、良品をえびすにて販売しました。
- ・'22年に開始した菌ちゃん畝での栽培は、協働圃場の拡大に伴い実施できませんでした。
- ・年4回の定例会に加え、農教室の前後で適宜協働作業を実施し、作業時間は延べ370hr人に上りました。
- ・栽培した作物を用いて、芋煮会(山形風<10/26>、福島風<1/24>の2回)を行いました。
- ・大豆栽培は3年目で、200㎡に作付けし、6/7播種～6/30土寄せ・除草～12/6刈取り～天日干し～12/13脱穀で、14.4kgfを収穫しました。刈取り～脱穀が一大作業で、全協働作業370hr人中45%の168hr人を費やしました。2/1日には皆で手作り味噌を作り、市販大豆との味の違いに感激しました。
- ・6月のバス見学会は、実施できませんでした。
- ・11月そば祭りの「里芋品評会」では、優勝:熊田さん、準優勝:松元さん、三位:宮平さんでした。'25年は、少雨で里芋の出来栄は総じて良くありませんでしたが、入賞者は、夏季の灌水を始めとした適切な栽培管理で立派な里芋を栽培しました。
- ・杉山 裕美子さんは4年間、浮田 敏丸さん、瀬上 照男さんは3年間、佐郷谷 尚子さんは2年間の課程を修了し、「有機栽培指導者証」を授与されました。

## 2. 2026年度活動計画(案)

- ・2026年度は、退会6名、新会員3名の16名でスタートします。
- ・各自の圃場で、栽培計画にもとづく有機栽培を実践し、結果を栽培報告書にまとめます。また、課題作物として里芋(土垂)を栽培します。
- ・浅野第五圃場、浅野第六圃場で中規模の有機栽培を行います。「売れる作物」を目指し、良品はえびすで販売します。城址下協働圃場は、個別圃場として活用し、残りは長寿部会が使用します。
- ・毎月第四土曜日 13～15時の定例会に加え、農教室の前後で適宜協働作業を予定します。  
栽培した作物を用いて、芋煮会やみそ作りなど行います。
- ・6月にハーブ部会と共同でバス見学会を予定します。
- ・11月のそば祭りに合わせて里芋品評会を開催します。

## 3. 2025年度農教室特別コース会員&個別圃場

No.	氏名	ふりがな	農教室 入会	特別 コース 入会	住所	R6 個別 圃場	備考
1	木村 弘美	きむら ひろみ	H25	H26	船橋市芝山	D2	計報里
2	松元 俊彦	まつもと としひこ	H28	H31	我孫子市根戸	G2	計報里
3	宮平 洋美	みやひら ひろみ	R2	R3	柏市北柏	A1	計報里
4	沼口 和子	ぬまぐち かずこ	H31	R4	千葉県我孫子市台田	B1	計報里
5	杉山 裕美子	すぎやま ゆみこ	R2	R4	我孫子市若松	G1	計報里
6	中村 乙子	なかむら おつこ	R3	R4	我孫子市白山	B2	計報里
7	浮田 敏丸	うきた としまる	H21	R5	柏市松葉町	A2	計報里/修了
8	瀬上 照男	せがみ てるお	H29	R5	柏市光ヶ丘	H1	計報里/修了
9	及川 治	おいかわ おさむ	R3	R5	松戸市五香南	C1	
10	米田 秀雄	よねだ ひでお	H28	R5	柏市岩井	C2	計報里
11	佐郷谷 尚子	さごや なおこ	H30	R6	我孫子市高野山	F2	計報里
12	熊田 富夫	くまた とみお	R3	R6	柏市 大津ヶ丘	E2	計報里
13	沓澤 浩志	くつざわ ひろし	R4	R7	柏市根戸	J2	計報里/休会
14	石山 直子	いしやま なおこ	R4	R7	柏市柏	D1	計報里
15	西 明子	にし めいこ	R5	R7	我孫子市台田	H1	計報里
16	作中 秀行	さくなかひでゆき	R5	R7	我孫子市我孫子	E1	計報里
17	指首 忠由	さしくび ただよし	R5	R7	流山市大字木	J1	計 里
18	小澤 珠実	おざわ たまみ	R5	R7	取手市新町	K1	計報里
19	河上 大志	かわかみ ひろし	R5	R7	流山市前ヶ崎	K2	計報里/休会



## ■特別コース協働圃場割

### 【城址下圃場】

		10.0m									
		K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10
2023	春秋	里芋		コーンなす				じゃがいも	かぼちゃ		
	春秋	空豆えんどう		にんにく玉ねぎ				秋野菜	大根		
2024	春秋	なすトマト				とうもろこし		里芋	じゃがいも		
	春秋	にんにく玉ねぎ									
2025	春秋	大根	個別圃場								
	春秋	健康長寿				個別圃場					

#### 1. 健康長寿部会からの圃場拡張要請

- K1(今大根を植えている畝)を貸与する
- K2~K4(小澤さん、河上さん個別圃場)まで貸与する  
→小澤さんには浮田さん跡に移動していただく必要あり

#### 2. 個別圃場の不足('26新規入会者数による)

- 浅野第六圃場A10~A17に個別圃場4面を新設する

#### 3. 協働圃場の使い方

- 大豆200㎡、里芋70㎡、じゃがいも75㎡を栽培する
- 浅野第六に0.9x15mの個別貸出畝を9畝確保し特別コース会員に貸出

### 【浅野第六圃場】

		15.3m=0.9x17畝																
		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A10	A11	A12	A13	A14	A15	A16	A17
2024	春秋	里芋ヤーコン		かぼちゃレタス										じゃがいも				
	春秋		ヤーコン					じゃがいも11畝					大豆					
2025	春秋				ササゲ								ねぎ大根	石川	海老	筍	土垂	
	春秋	ヤーコン		石川早生	八つ頭	筍芋	筍芋	筍芋	海老芋	土垂		個別圃場x2					個別圃場x2	

### 【浅野第五圃場】

		39.5m=0.9x44畝																					
		B1	B3	B5	B7	B9	B11	B13	B15	B17	B19	B21	B23	B25	B27	B29	B31	B33	B35	B37	B39	B41	B43
2024	春秋	ハーブ		ピーマン他									大豆										
	春秋																					白菜	小松菜
2025	春秋	大豆											コーン									藍(ハーブ)	
	春秋																		高菜				
2026	春秋				ハーブ																		
	春秋									個別貸出				じゃがいも								大豆15x13.3=202㎡	

### 1 はじめに

「特別コース」は、有機農業による家庭菜園指導者の育成を目的に、15㎡の土地を会員に割り振り、土づくりから有機栽培に取り組んでいます。皆さん、試行錯誤をしながら、失敗したり、上手く収穫できたりと、悩みも多いですが楽しくやっています。

今年は19名の会員で活動していますが、その一端をご紹介します。

### 2 はたけ自慢

7月12日の農教室の収穫祭後、特別コースでは「はたけ自慢」という各自の畑を紹介する企画がありました。上手に畑を管理している人もいますし、週末しか畑に来られないので、管理が大変な方もいます。

夏野菜が本番の時期を迎え、トマト、ピーマン、きゅうり、ナス、ゴーヤ、とうもろこし、ズッキーニ、サトイモなどが育っていました。私が驚いたのはズッキーニです。うねうねと茎と葉が成長し、その枝本に花が沢山ついて、沢山の実がなっていました。きゅうりみたいなものだと思っていたので、その生え方は驚きでした。また、リーダーは、ミニトマトを斜めに誘引していて、そうすると成長しても高さを抑えることができます。なるほど勉強になります。



### 3 苦労していること

皆さん、とうもろこしとトマトに苦労していました。

#### 1) 害獣対策

とうもろこしは、害虫よりも、ハクビシンだと思われる害獣の被害があったようで、背の低いネットは、簡単によじ登ってしまうようです。そろそろ収穫と思っていたところ、翌週に来たら被害にあった方もいました。右の写真の防鳥ネットを周りにぐるりと引き回している方は被害にはあっていないようで、防鳥ネットが効果的かもしれません。



#### 2) 青枯病

トマトは、青枯病に罹っているものがいくつかありました。青枯病は「ラルストニア・ソラナセアラム」という細菌によって引き起こされ、特にナス科植物（トマト、ナス、ピーマン、ジャガイモなど）に深刻な被害をもたらす病気だそうです。この細菌は土壌中に生息していて、罹病した植物の残渣や土壌中で長期間生存し、水とともに移動して健全な植物に伝染するとのこと。特別コースでも毎年被害が出ているようです。葉っぱが青いまま萎れてしまい、それが故に青枯病と呼ばれます。放置すると、他に感染する可能性があるため、畑の外に出して処理する必要があります。ハサミなどから感染する可能性もあります。高温多湿状態で症状が顕著になるとのこと。水はけの悪い圃場や連作障害もその原因のようです。土壌中に生息している細菌なので、防ぐ方法はあまりないようですが、取れる対策としては、

太陽熱土壌消毒をしたり、道具を消毒したり、連作を避けたり、水のやり過ぎに注意したり、発病した株を取り除いたりすることです。

### 3) 太陽熱土壌消毒

太陽熱消毒をやってみました。圃場を耕した後、透明マルチをかけているのですが、1ヶ月ぐらい太陽光による熱消毒を行うと良いそうです。夏場の太陽の下では、土壌温度も高くなって、消毒も進むことでしょう。話は逸れますが、透明マルチをするとすごい量の水蒸気がマルチに付着するのがわかります。これだけの量の水蒸気が空中に拡散されているのかと思えば、逆にマルチによる保湿効果が高いことも理解できます。マルチをしているところは、手をいれると、いつもいい感じに湿っていて、ホカホカしています。



## 4 害虫

害虫の話ですが、これまでウリハムシ、アブラムシ、タバコガの幼虫、カメムシ、セスジスズメの幼虫、モンシロチョウの幼虫などを見ました。

### 1) ウリハムシ

ウリハムシはきゅうりの苗に良くつきます。キラキラが嫌いなようで、アルミ箔やキラキラテープを巻いて防ぐようにすると少しは効果があるようです。放っておくと、葉っぱがレース編み状態になって、光合成ができないので成長しません。ある程度作物が成長すると、さほどの被害はないような気がします。

### 2) アブラムシ

アブラムシは、やはり若い芽の裏に隙間なくびっしりとつくことがあります。不思議なのが、隣通しの株であっても、びっしりとつく株とそうでない株があることです。対策として、酢の希釈液や木酢液、油せっけんなど試しましたが、結局のところ養生テープでペタペタとこまめに取り除くのが一番のようです。葉の裏が葉脈で凸凹していると、その隙間にアブラムシが入って取れないときがあります。そういうときは油石鹸を吹き付けて殺してから、水をかけながら刷毛で洗い流しています。

### 3) タバコガ

トマトに3mmぐらいの穴が空いているとそれはタバコガかオオタバコガの幼虫のようです。私のミニトマトもたくさん被害に会いました。青いトマトを食べます。酸っぱくないのでしょうか。さらに厄介なのが、花や成長点の若葉も食べてしまうとのこと。そう言えば、花があるべきなのに、花がない房がいくつもあります。本当ならもっとミニトマトがなっていたはずなのにと悔しい思いです。



### 4) 子ガエル

7月の中旬は、畑に沢山の子ガエルがいます。この子たちが、余計な害虫を食べてくれることを期待しています。

(文責：作中)

特別コースでは、皆さんが色々な野菜を育てています。ちょうど季節が春・夏野菜から秋・冬野菜への折り返し点になりますので、自分なりに半年間の総括をしてみます。

特別コースでは 2.5m×6.0m=15.0m<sup>2</sup> の畑を借りて 5~6 畝を作ります。私は初心者でしたので、里芋（課題作物）、スナックエンドウ、キュウリ、ミニトマト、ナス、キャベツ、ブロッコリー、ほうれん草、小カブ、オクラなどに挑戦しました。

### 1 畝 1：ほうれん草と小カブ

畝 1 は 3 月末にほうれん草と小カブを植えました。不織布で害虫対策をしましたが、特に難しいこともなく、5 月には沢山収穫できました。初心者向け作物ですね。



### 2 畝 2：キャベツとブロッコリー

畝 2 はキャベツとブロッコリーです。4 月上旬にポット播種をして、まだ若葉でしたが、すぐに畑に移植しました。地温も低かったので黒マルチも使いました。害虫対策のために不織布で覆いました。いずれも生育は順調でしたが、キャベツは葉が黄色くなったので追肥をしました。しかし、その按配が悪かったのか、生育が止まってしまいました。しばらく放置していたのですが、結局、直径で 15cm 程にしかならず、八百屋さんのような立派なキャベツはできませんでした。ブロッコリーは大きな花蕾ができて収穫できました。脇芽も期待したのですが、それはできませんでした。まあ、それでも大きな野菜を初めて作って収穫もできたので嬉しかったです。



### 3 畝 3：ミニトマトとオクラとナス

ミニトマトとナスとキュウリは、先輩から「植えすぎると取れすぎて大変。2~3 株で十分。」と聞いていたので、一畝に集約しました。いずれも 4 月中旬にポットに播種して、ホットカーペットで温めながら発芽させました。

ミニトマトは 100 均で購入した種です。2 株定植し、その後順調に成長、かなりの数の実を収穫することができました。近所にも配りましたがそれでも余ります。昔、ドライトマトがとても美味しかったことを思い出し、ドライトマトならぬトマトジャムにしてみました。これは大成功でとても美味しかったです。しかし、6~7 段目ぐらいまで進んだところで、タバコガにやられました。実に 3mm ほどの穴が空き、中に幼虫が巣食っています。実が数個やられる程度なら良いのですが、どうも頂芽や花を食べるようで、気づくと花が全部なくなっています。葉も弱ってきたので、8 月に入る前に刈り取って終わりにしました。他の皆さんは、タバコガの被害よりも、青枯病にかかってしまった方が多いようでした。

ナスは、長ナスを 3 本植えましたが、余った苗を畝の端に 3 本追加しました。8~9 月は扱ったのですが、ナスはそんなことお構いなしで、8 月末頃から鈴なり状態になりました。かなりの数が収穫できましたし、今でも取れています。

オクラは、ミニトマトとナスの隙間に 2 本×3=6 本を植えました。はじめはアブラムシが葉の裏に大量について成長しませんでした。それを養生テープで小まめに取ると順調に生育するようになりました。8 月の中旬頃になってようやく大きくなってきましたね。まあまあ順調に取れています。しかし、成長すると今度はワタノメイガの被害が出ました。奴らは葉を切り取り丸くつないで巣を作ります。中には全長 2~4cm ぐらいの緑色のイモムシが潜んでいます。見つけに



くいで注意が必要です。小まめに葉をちぎって処分すると、しばらくはいなくなります。

#### 4 畝4：スナックエンドウとキュウリ

スナックエンドウは3月下旬に直播しました。はじめは順調でしたが、うどんこ病にかかり成長が止まりました。収穫量も少なく小袋で1つ程度です。5月末までに早々に処分しました。

キュウリは沢山できました。最初の頃、花が咲かなくなったので困っていたところ、リーダーから「キュウリは追肥をしないと駄目」と言われ、積極的に追肥をしました。結果、見事に復活し、かなりの数のキュウリを収穫することができました。成長が止まったときに、余っていた2本の苗を追加したので合計で4本です。しかし、2本でも十分な量のキュウリが確保できました。8月が終わることには葉が枯れ気味になってきて生産量も落ちてきました。キュウリを食べるのも飽きてきたので、ちょうど良い頃合いでした。

ところで、Youtubeで仕入れたネタを一つ。トマトとナスとキュウリを比べると、トマトはすごく深く根を張るそうです。キュウリは浅く広く根を張ります。ナスはその中間程度とのこと。トマトはあまり水をやらなくても良いと言われていますが、根が深いので自分で水を探していきます。乾燥地帯の食物の知恵です。逆にあまり水をやりすぎると浅い根に悪い影響を与えることもあるようです。キュウリとナスは、トマトに比べると根が広範囲に広がるので、水やりするときは、畝間など周囲に水やりしたほうが良いようです。確かに、ミニトマトやナスは水やりをほとんどしなくても結構な数の実をつけました。キュウリは、葉っぱがカラカラになるので、よく水やりをしました。原産地の気候によって、植物の根の張り方も違うようです。

#### 5 畝5：里芋（課題作物）

里芋は特別コースの課題作物です。3月下旬に種芋の配給がありました。地中温度が高いほうが良いだろうと思い、植えてから黒マルチで覆いました。マルチがつんつんしてきたら発芽なので、その部分に穴を空けます。里芋は追肥と土寄せが大事ということなので、夏になったら黒マルチは外し、追肥や土寄せをしました。今のところ順調です。先日、セスジスズメガの幼虫が里芋の葉を猛烈な勢いで食べていました。



里芋の隙間には生姜とさつまいもを植えましたが、これらも順調に育っています。

#### 6 畝1の後作物

畝1のほうれん草と小カブは5月末までに全て収穫しました。その後作に、6月下旬頃に、芽キャベツとほうれん草と小カブを植えました。しかし、暑さのためか、ことごとく失敗しました。ほうれん草は発芽すらしません。小カブと芽キャベツは発芽しても芽が萎れてしまいます。かろうじて芽キャベツ2つだけが生き残っています。ほうれん草が駄目なので、7月に入り、モロヘイヤを試しに植えてみました。これは大成功で、何もしないのにヒョロヒョロと枝が伸びてきます。人間は若葉を食べるので、頂芽付近の数枚を摘みます。すると脇芽が次から次へと伸びてきます。また、それを摘みと繰り返すと、収穫量がアップします。エジプト原産だそうです。夏の暑さもなんのその、行く度に大量に収穫ができます。枯れるまで無限に食べられそうです。

#### 7 総括とこれから

多くの失敗もありましたが、沢山の収穫もありました。初心者である自分としては70点かなと思います。しかし、9月に入っても暑いですね。早く、秋・冬野菜を植えたいのですが、気温が高すぎて、発芽しても萎えてしまいそうです。それでも、8月よりは少し日差しが和らいで来たので、白菜、大根、ほうれん草、ブロッコリー、小カブを植えました。結果、白菜、大根はまあ順調ですが、ブロッコリーはネキリムシにやられ茎元でちぎられやり直し、ほうれん草と小カブは暑いせいか芽も出ませんでした。なかなか難しいです。(文責：作中)

特別コースでは、10月25日に報告会と芋煮会を実施しました。今回の参加者は15名でした。

### 1 報告会

報告会では、特別コース参加者各自から、現在までの成果と秋冬野菜への対応状況などが報告されました。皆さんそれぞれ素晴らしい成果を上げたり、苦労したりしているようですが、代表的な話題を取り上げてみますと、

- ・ さつまいもはとても出来が良かった。ただし、ネズミかモグラと思われる害獣に部分的に食べられた人も数名いました。
- ・ 里芋は順調に育っているが、いつ頃収穫したら良いのだろうか。
- ・ 生姜がとても大きく育ってきていて、収穫が楽しみである。
- ・ 共同作業で植えていた大豆は、上手く実が入らず失敗であった。花が咲き、実を付け始める頃に雨が降らないといけない。
- ・ 自分の畑の周りと同圃場の周りはきちんと除草すること。除草も雑草が伸びすぎるとモアでも刈り取れない場合もある。雑草の長さは「馬の耳」の長さが限界である。伸びすぎると雑草が種を撒き散らすので、周辺の農家にも迷惑をかける。
- ・ ところで「馬の耳」って何センチだろうか？
- ・ とうもろこしは上手にできる人とそうでない人がいるのはなぜだろうか。条件はあまり変わらないように思う。上手にできても害獣に食べられてしまう人がいるので、なかなかとうもろこしは難しい。

### 2 秋冬野菜への対応

暑い日が続いていたので、秋冬野菜への対応については、皆さん遅れているようでした。多くの方は、ダイコン、にんじん、コカブ、白菜、ブロッコリー、玉ねぎ、にんにく、スナップエンドウなどに切り替えているようでした。水菜と小松菜が上手く言っているという人もいました。

せっかく植えたブロッコリーがネキリムシにやられて全滅したとの報告もありました。ネキリムシ対策に一番良いのは、大きなペットボトルの輪切りを若葉を囲うように設置することだそうです。簡単なので、次からは試してみることにします。

スナップエンドウは、秋に植えて冬越しさせるのが一般的ですが、寒くなると枯れてしまうこともあるとのこと。そのような場合には、1月頃に植え付けても間に合うの話題もありました。

その他、トマトの青枯病対策には、芥子菜を植えて畑にすき込むと良い。にんにくを植える時は、一晩冷蔵庫に入れてから植えると発芽率が向上する。さつまいもの苗は、今あるツルを上手に保管すれば来年の植え付けに使用することができる。ただし、上手くいかない場合もあり、ファームでも苗は購入しているなどの話題がありました。

日照時間も短くなってきており、気温の急激に下がっているようです。もたもたしていると秋冬野菜への切り替えタイミングを失います。私も未だ収穫できている夏野菜への未練を断ち切り、畑の野菜を切り替えたいと思います。

### 3 芋煮会

報告会の後は、お楽しみの芋煮会です。今回は山形式の芋煮を作りました。

芋煮には山形式と福島式があるそうで、地域によって内容が違うとのこと。ご存知でしたか？私は今回初めて知りました。これらの違いを簡単にまとめると、山形式は牛肉を使い、福島式は豚肉を使います。山形式は醤油ベースで甘みのある出汁になりますが、福島式は味噌ベースだそうです。

今回の山形式芋煮では、牛肉、里芋、長ネギ、ごぼう、こんにゃく、しめじなどの具を投入して、大鍋1杯を作りました。

芋煮はとても美味しく仕上がりました。砂糖も入れてありますので甘みがあります。口に入れるとすき焼き風の印象で、口いっぱいに旨味が広がりました。里芋の出来も、煮え具合も丁度良かったです。皆さんが何杯かおかわりをして、大鍋はきれいに空になりました。



### 4 課題作物「里芋」

特別コースの課題作物である里芋ですが、11月29日のそば祭り際には皆さんに披露されることとなります。どうぞこの半年の成果を見てあげてください。昨年は、松元リーダーが優勝しました。今年も連覇なるでしょうか。

(文責：作中)



昨年のサトイモ（土垂）の品評会は熊田さんがぶっちぎりで票をさらい優勝しました。去年の優勝者の松元さんは惜しくも2位でした。ちなみに私はどこにも引っかかりませんでした。今年はずっと精進します。初心者の私ですが、今回初めてサトイモを育ててみました。先輩諸氏から伺ったことや気づいたことについて少しまとめておきます。

## 1 結論

結論を先に示せば、サトイモを大きく育てるためには、種芋選びと追肥、土寄せ、水やりの4つが重要だということです。

## 2 種芋が重要

サトイモを大きく育てるためには種芋選びが大切です。40～60gの形の良い孫芋が良いようです。私は勘違いしていて、種芋が大きくなって親芋に成長するのだと思っていました。しかしそれは間違いで、種芋の芽が親芋に成長します。サトイモの皮を剥くとぼつぼつと芽が見えますが、それが成長して親芋になるそうです。種芋→親芋→子芋→孫芋となるそうです。

昨年収穫した親芋を植えても良い結果がでるそうです。親芋には芽がたくさんついているので、親芋を種芋にすると四方に芽が出て複数の親芋ができ、それらが大きな株になります。親芋から芽だけを削って植えても里芋はできるそうで、大切なのは丈夫な芽ということになります。

## 3 マルチも効果的

サトイモを植える時期はまだ寒いこともあるので、マルチを使うと地温も高くなり、親芋の成長に効果的です。私も使ってみました。他の誰よりも早く芽が出ていました。しかし、マルチをすると追肥と土寄せがやりにくくなります。初めの数ヶ月マルチをして、その後脇芽が出る頃には、外してしまう方がいいのかもしれない。

## 4 サトイモの成長過程

サトイモの成長過程ですが、どうも次のような仕組みのようです。

- 1) 種芋の芽が成長して親芋になります。親芋からは太い葉柄（ようへい）が出ます。
- 2) 親芋の周りに子芋ができます。親芋の周囲に脇芽が出ますが、この脇芽は子芋が成長して芽が出てきたものです。
- 3) 脇芽を出した子芋も大きく成長します。そうするとその子芋から孫芋が生まれます。
- 4) 種芋から親芋ができ、親芋から子芋が生まれ、子芋が周囲に孫芋を作ります。ひ孫芋ができるのかは知りません。半年だと親子3代ぐらいまでが限界かも知れません。

サトイモを上から見ると、親芋の周りには子芋がたくさん付いています。子芋の周りには孫芋がたくさん付いています。親芋を中心にぐるりぐるりと取り囲むように子芋と孫芋ができます。

また、子芋は親芋の肩につきます。親芋が1段目だとすれば、子芋が2段目、孫芋が3段目という感じで、横方向と深さ方向に芋が広がります。これを上手に作る事ができれば、上から見ても、横から見てもずっしりと芋が連なるサトイモの出来上がりとなります。

## 5 優勝者のサトイモの場合

今年の優勝者の熊田さんの報告によれば、種芋から子芋が9つでき、孫芋が87できたそうです。そうすると一つの親芋が9つに分岐して、9つの子芋が再び9つ程度に分岐していることとなります。9の2乗で81というイメージでしょうか。すごいですね。

## 6 深耕と土寄せ

サトイモの子芋は親芋の肩上に、同様に孫芋は子芋の肩上に付くので、放って置くとサトイモは土から顔を出してしまいます。そのため、成長に応じて土寄せすることが大切です。芋は上に広がりますが、サトイモの成長を助けるためには根が深く伸びるようになる必要があります。深耕が大切です。根が深ければ安定して養分と水分を吸収することができます。思いますに、土は良く耕す。そして、あまり高畝にせず周囲に土を残し、成長に伴って土寄せを頻繁に行うべきなのでしょう。



## 7 追肥

追肥は土寄せのタイミングでやれば良いようです。Youtuber 諸氏が語っています。

## 8 サトイモの脇芽は切るべきか

脇芽ですが、サトイモを掘り出してみると脇芽が子芋からでていることが分かります。子芋からは孫芋が生まれます。孫芋に栄養を供給することを考えれば、子芋の脇芽は切らないほうが良いでしょう。しかし、Youtube を見ていると、脇芽は切った方が良いと説明している人もいます。子芋を大きくさせたいなら切っても良いのかも知れません。でも、私の拙い経験で言えば、子芋の脇芽は切っても切っても出てきます。やっぱり切らない方が良いでしょう。ただし、時々親芋から 2 本目の芽が出てしまうことがあるようです。この場合は切った方が良いでしょう。しかし、脇芽が親芋から出ているのか、子芋から出ているのか分かりません。

## 9 害虫は駆除すべし

去年、大きなセスジスズメガの幼虫が葉についていました。しばらく観察したのですが、猛烈な勢いで葉をまさにムシャムシャと食べていきます。1 日で大きな葉っぱ 1 枚ぐらい食べちゃいそうなので、見つけたら駆除しましょう。

## 10 芋は洗うな、小まめに掃除すべし

品評会に出す場合、サトイモは水で洗わない方が良いでしょう。水で洗うと土の粘着力でくっついてた子芋と孫芋がバラバラになります。私は、大きかった株を洗ったらバラバラになってしまいました。サトイモを収穫したらカゴに入れて、そおっと、大切に、周りから、焼き鳥の串で丁寧に丁寧に土落としをするのが良いでしょう。また、茎はある程度ついてたほうが立派に見えることに気が付きました。錯覚効果だと思いますが、ちょっとは残しても良いと思います。

## 11 せっせと水やりをする

水やりは大切だそうです。昨年は夏は日照り状態で、畑も乾燥して地割れが起きていました。雨が多い時期は良いですが、夏場の日照りのときは、せっせと水やりをしたほうが良いでしょう。

## 12 さて、私の結論

ということで、私は、今年は形の良い種芋を選び、土をよく深耕してから植えることにします。植え初めは黒マルチをして土を温めて種芋と芽の成長を促します。後から土寄せがやりやすいように畝はあまり高くせず土を周囲に残しておきます。種芋が成長して脇芽が出たら、天候次第ですがマルチを外し、せっせと土寄せをしてついでに追肥もします。快晴が続くようなら水やりも頑張ります。そうすれば、きっと大きなサトイモができることでしょう。今年は 3 位以内の入賞を目指し、しっかり商品のお米をいただきたいと思います。

以上です。私が耳にしたり、感じたりしたことをまとめました。合っているのか、間違っているのか、分かりませんが、今年の秋に結果が出ます。とりあえず、話半分で読んでおいてください。今年のサトイモのまとめでした。(文責：作中)

# 2025年里芋品評会結果報告

■2025年里芋品評会：2025/11/29（土） そば祭りと同開催

■総評：2025年の里芋は、夏季の降雨不足のため総じて不作でした。

14名の審査員による厳正な評価の結果、優勝：熊田さん（36ポイント）、準優勝：松元さん（21ポイント）、三位：宮平さん（14ポイント）の結果となりました。

四位：沼口さん（6ポイント）、五位：杉山さん（3ポイント）、六位：浮田さん、作中さん（2ポイント）も健闘しました。



優勝（36ポイント）  
熊田さん



準優勝（21ポイント）  
松元さん



三位（14ポイント）  
宮平さん



四位（6ポイント）  
沼口さん



五位（3ポイント）  
杉山さん



六位（2ポイント）  
作中さん



六位（2ポイント）  
浮田さん

## 審査結果

参加者 審査員	1 米田	2 熊田	3 石川	4 作中	5 小澤	6 木村	7 宮平	8 杉山	9 浮田	11 及川	12 河上	13 指首	14 沓澤	15 佐藤谷	16 瀬上	17 中村	18 沼口	19 松元	
1 寺田		1					3											2	
2 落合		3															2	1	
3 永谷		2					3											1	
4 原田		1						2	3										
5 桐石		1					3											2	
6 舛本		1															2	3	
7 富沢		1					3											2	
8 吉田		1					2		3										
9 大挾		1					3										2		
10 坂巻		1		2			3												
11 堀内		1					3											2	
12 高井		2					1	3											
13 福田		2					3											1	
14 原		2					3											1	
1位		9					1											4	14
2位		4		1			1	1									3	4	14
3位		1					9	1	2									1	14
ポイント		36		2			14	3	2								6	21	
総合順位		優勝		6位			3位	5位	6位								4位	2位	

以上

特別コース個別圃場

栽培計画&報告書

		沼側		
区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m <sup>2</sup> 4.81 坪	A1	A2	A3	
	テーブルビート(ビーツ) (ヒユ科) 品種:デトロイトダークレッド	サトイモ (サトイモ科)	カボチャ (ウリ科) 品種:ロロン コンパニオンプランツ :ネギ(ユリ科)	
	B1	B2	B3	
	タマネギ (ユリ科)	サヤエンドウ (マメ科)	芽キャベツ (アブラナ科) コンパニオンプランツ: :シュンギク(キク科)	

		城址側											
区画 番号		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A1			播種				収穫						
A2			植付け							収穫			
A3			播種	植付け			収穫						
ネギ			播種		植付け		収穫						
B1								播種		植付け			
			収穫										
B2									播種	植付け			
			収穫										
B3						播種	本葉5~6枚で植付け				収穫		
シュン ギク									播種		随時収穫		

課題と選定理由など

今年も引き続き、周りに方にご迷惑をおかけしないように、雑草を早め、早めに刈り取り、管理したいと思います。  
今年も、よろしくお願ひ致します。

- ・カボチャとネギ、芽キャベツとシュンギクはコンパニオンプランツとして、配置しました。
- ・出来るだけ、ごみを出さないように、冬でもビニールマルチは使わずに、雑草マルチで栽培したいと思います。

一番上の表題が表示できなくなっていました。<T.T>  
どうにもならないので、このまま送らせて頂きます。申し訳ありません。 <\_\_>

氏名: 木村 弘美

## 2025 年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	ビーツ	△	10粒播種したのですが、5株しか芽が出ず、小さめ3株を収穫。
2	サトイモ	○	課題のサトイモ。3株とも小さめだったが、おいしかった。
3	ゴーヤ	△	恵比寿で苗を購入したもの。草の中から3個収穫できた。
4	カボチャ	◎	恵比寿で苗を購入したもの。バターナッツカボチャ7つ収穫。
5	タマネギ	-	
6	芽キャベツ	-	
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 -作付けせず

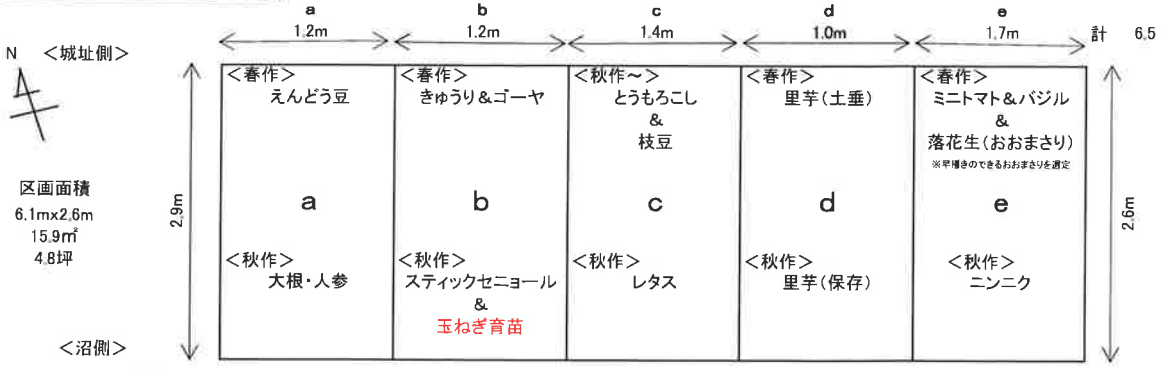
## 課題の結果

・出来るだけごみを出さないように、ビニールマルチは使わずに、草マルチで栽培するという目標は、達成できたと思います。が、それだけでは、上手に栽培できるわけではないので、もっと工夫しなくては駄目だなと毎年反省です。

・夏は暑い日が続き、水やりに行けなくて心配していたのですが、草の中で、ゴーヤも 秋のカボチャ育っていてくれたので、雑草を繁茂させないようにしながら上手に使っていられたらいいと思います。

・今年も周りの皆様にご迷惑をおかけしないように、雑草を早めに刈り取って行きたいと思っています。出来ないこともいっぱいありましたが、今年もどうぞよろしくお願いいたします。





区画 番号	作物	2025年												2026年											
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
a	えんどう豆 <春播き>	収穫												※23~春菊・ほうれん草→えんどう豆に変更											
	<秋作> 大根 人参													太陽熱マルチ殺菌 29播種											
b	ニンニク	18収穫																							
	<春作> きゅうり ゴーヤ	27本外播種 27本外播種												4定植 7/13収穫 7/E~9/26収穫 9/27撤去											
c	<秋作> スティックセニョール													太陽熱マルチ殺菌 7本外播種 27植付 12/E頂花蕾収穫											
	とうもろこし 枝豆 <秋作> レタス	10播種 1播種												1播種											
d	土垂れ(6)	24催芽植付												24収穫 マルチ保存											
	<秋作> えんどう豆													<春植え>											
e	ミニトマト/実生	19本外播種 10→24定植 7/16-8/E収穫																							
	おまさり <秋作> ニンニク	18本外播種→5/21定植												27収穫 10/30播種											

残さ置場横圃場: なす→玉ねぎ→おくら→白ねぎ→きゅうり・ゴーヤ・かぼちゃ⇒里芋→そら豆⇒なす: 4年輪作計画

Z20	白ねぎ/Z19																								
Z19	<春作> きゅうり ゴーヤ かぼちゃ	27本外播種 27本外播種 1本外 20植付け												4定植 7/13収穫 4定植 7/E~10/E収穫 10/27撤去 10/10収穫											
Z18	海老芋(5)	24催芽植付												10収穫											
Z17	タケノコ芋(5)	24催芽植付												10収穫											
Z16	<秋作> そら豆													10/15本外 10植付 <11/15→玉ねぎ>											
Z15	長なす <秋作> 玉ねぎ	6本外植付												9/E撤去 15播種 15定植											
Z14	<春作> おくら	1本外播種→6/1定植												収穫 撤去											
Z13	<秋作> 白ねぎ													移植→翌年6中まで収穫											

課題と選定理由など

1. 施肥基準: 肥効率を加味した施肥量に変更('20~): 継続

2. 土壌改良の実施

- (1) 芥子菜による土壌病害虫除去: トマト圃場('20~): 継続(4/2~5/20芥子菜すき込み)
- (2) 太陽光マルチ殺菌処理(8月実施): スティックセニョール圃場('19~): 継続・c, e圃場

輪作7年目として昨年から継続

3. 栽培時期の調整

- (1) 輪作計画の変更: 栽培時期を考慮しズッキーニ→きゅうり・ゴーヤに変更、混植を多用/21より変更  
ズッキーニ→ほうれん草→枝豆→春菊→とうもろこし→スティックセニョール→トマト→大根→里芋→玉ねぎ→ズッキーニ  
きゅうり・ゴーヤ→えんどう豆→大根・人参→とうもろこし→スティックセニョール→トマト→落花生→ニンニク→里芋→(保存)
- (2) ミニトマト: 3/18ポケット播種→3/23発芽・移植→5/10植付け('20~): 継続
- (3) ズッキーニ: 玉ねぎの後作のため栽培時期不適→きゅうり・ゴーヤに変更する。('21~)
- (4) 玉ねぎ→にんにくに変更('22~)
- (5) 落花生(おまさり): 4/20本外播種→5/10植付け収穫せず⇒10/10収穫後作を大根→にんにく('22~)
- (6) ほうれん草・春菊: 播種時期が遅くなるためエンドウ豆に変更('23~)
- (7) 里芋: 催芽処理で播種時期を早める(4/15→4/4→3/中/桜開花時)→農教室に合わせる

4. 栽培方法の改善

- (1) えび芋、たけのこ芋、土垂: 3種催芽処理(3/24)
- (2) 枝豆: えんどう豆栽培により中断<継続> とうもろこしのコンパニオンプランツとして栽培
- (3) とうもろこし: ポット播種をやめ直播('20~)、穴底植えて早発を試みるも失敗('23)→再挑戦
- (4) ミニトマト: 全実生苗(21~)→一株二本仕立て+非摘心・つる降ろし栽培 アイコ: 継続……千果('19)は裂実が多くアイコに特化

5. コンパニオンプランツの活用

- (1) トマト: ネギ・バジル・落花生共植('19~): 継続
- (2) ほうれん草: 春菊・レタス共植('23~) <中止>
- (3) とうもろこし: 枝豆共植('19~) <中止>
- (1) 三浦大根採種栽培('20~): '22で中止・交雑×
- (2) 里芋5種栽培(土垂、石川早生、ハツ頭、たけのこ芋/'19~、えび芋/'20~)
- (3) パターナッツかぼちゃ('21~) (4) きゅうり (5) ゴーヤ (6) 長なす
- (8) ヤーコン('23~) (9) えんどう豆('23~) <継続>

6. 環境対策: (1) 支柱類の自製: 竹を利用して支柱類を自製 (2) ポカシ肥自製('21~)

※購入品 ①種子・苗 ②育苗培土 ③腐葉土 ④発酵鶏糞 ⑤発酵牛糞 ⑥ホカシ肥(農教室) ⑦育苗ホト ⑧不織布マルチ ⑨ビニールマルチ  
※非自由由来品: 下線部 ⑩防鳥ネット ⑪防鳥テープ ⑫紐(麻、樹脂) ⑬温度計 ⑭pH計 ⑮発砲スチロール箱 ⑯ダンボール箱

No.	栽培作物	圃場	評価	2023結果/網掛け部は計画作物
1	えんどう豆	a	×	さやえんどう、スナップえんどうは冬越しできず枯れる→年明けにつるなしいんげんを植付け
2	つるなしいんげん	a	○	4/20定植9株→5/23除草追肥→6/6~収穫/年明け後播種で良作であった
3	白ねぎ	a	△	'24.10/8畝立て植付け(足長美人) 雑草に負けてやせ細る
4	丸おくら	a	◎	4/11催芽→4/15ポット播種→6/15定植5株→8~10月収穫/長期間にわたり良品を収穫できた
5	大根	a	◎	9/7直播防虫マルチ→12/1収穫/良作
6	にんにく	b/e	○	'24.11播種黒マルチ→5/23収穫22/100良品/11/2播種105玉→11/15順調に発芽生育中
7	きゅうり	b	◎	4/11催芽→4/13ポット播種→5/23定植→7~8月収穫
8	ゴーヤ	b	◎	4/11催芽→4/13ポット播種→5/23定植→7~9月収穫立派なゴーヤを長期間収穫でき一部をえびす出品
9	茎ブロッコリー	b	○	ポット播種→11/2定植~/発芽時期が遅れ年内収穫できず生育中
10	はくさい	a, b	(△)	9/28ポット播種→11/2定植/ビニールマルチで保温栽培中 植付けが遅れ年内収穫できず
11	とうもろこし	c	△	4/9ゴールドラッシュ直播3x13透明マルチで発芽促進→5/23間引き→7/12収穫
12	枝豆	c	○	4/9直播3x13透明マルチで発芽促進し→5/23間引き摘芯→7/12収穫
13	にんじん	c	◎	8/31ひとみ五寸直播→9/25黒田五寸追加播種→12~収穫/直播で不織布をかけた部位の発芽が悪かった
14	レタス	c	◎	9/27直播→順調に生育中
15	春菊	c	△	9/28直播→順調に生育・収穫 播種時期が遅れ成長不良
16	ほうれん草	c	△	9/27直播→順調に発芽するも成長不良
17	里芋(土垂)	d	◎銀	4/5植付→5/23追肥土寄せ→7~8月灌水→11/28収穫→11/29品評会/銀 7~8月の灌水が効いて良作
18	ミニトマト(アイコ)	e	△	3/9アイコ10鈴なり20ポケット催芽→3/14ポット播種→4/27ハウス組立→5/23定植→6/28整枝→7/20~8/E収穫→8/31撤去/苗の水やりを抑制し根腐れ防止、からし菜すき込み省略も青枯れ病はなし、成長期に虫で芽の食害にあい収量半減、雨除けマルチで食味は良好
19	とうがらし	e, a	△	3/9ポケット催芽→3/15ポット播種/トマト、おくら共植えるも実が赤くならず収量減
20	落花生/おおまさり	e	×	5/17ポット播種→6/6定植10株→11/2収穫/トマトの影で実入りが少ない
21	パジル	e,x15	◎	4/10催芽→4/11セルポット播種→4/30ポット鉢上げ→6/6定植/トマト、長なす共植し防虫効果を発揮、良作
22	かぼちゃ	x20,19	~	播種タイミングをのがし栽培できず
23	たけのこ芋	x18	◎	4/9植付け→6/6除草追肥土寄せ→11/24収穫/4/5良作 芽欠きで親芋のみ育てるのがポイント
24	海老芋	x17	△	4/9植付け→6/6除草追肥土寄せ→11/24収穫→マルチ保存
25	そら豆	x15,16	△	'24.11/8定植→2/E施肥→3/21整枝7本仕立て→3/31支柱立て→4/28-5/18収穫→5/26撤去/マルチ被覆で苗枯れはなかったが、アブラムシ害がひどく収穫は良くなかった/11/15定植10株→連作トライ
26	長なす	x15,16	◎	3/9長なす20ポケット催芽→3/15ポット播種→4/30鉢上げ→6/6定植→7~9月収穫/長期間良品収穫
27	玉ねぎ	x15,16	~	播種タイミングをのがし栽培できず
協	じゃがいも	浅6	○	3/8植付け→6/21収穫
協	大豆	浅5	○	6/7播種10mx23畝→6/28除草→6/30畝間耕耘→12/6刈取→天日干し→2/13脱穀 11.4kgf収穫

評価:◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ~作付けせず

課題の結果

1. 施肥基準: 肥効率を加味した施肥量に変更('20~): 継続

2. 土壌改質の実施

- (1) 芥子菜による土壌病害虫除去: トマト圃場('20~): 継続(4/2~5/20芥子菜すき込み)・・・2025は実施せず
- (2) 太陽光マルチ殺菌処理(8月実施): スティックセニオール圃場('19~): 継続/a圃場・・・2025年は実施せず

3. 栽培時期の調整

- (1) 輪作計画の変更: 栽培時期を考慮しズッキーニ→きゅうり・ゴーヤに変更、混植を多用。  
ズッキーニ→ほうれん草→枝豆→春菊→とうもろこし→スティックセニオール→トマト→大根→里芋→玉ねぎ→ズッキーニ  
きゅうり→えんどう豆→とうもろこし・枝豆→スティックセニオール→トマト・落花生→ニンニク→大根・人参→里芋→腐葉土生成
- (2) ミニトマト: 3/10播種→3/15発芽・移植済→5/10植付け('20~): 継続
- (3) ズッキーニ: 玉ねぎの後作のため栽培時期不適→きゅうり・ゴーヤに変更する。('21~)
- (4) 玉ねぎ→にんにくに変更('22~)
- (5) 落花生(おおまさり): 4/20ポット播種→5/10植付け収穫せず⇒10/10収穫し後作をだいこん→にんにく('22~)
- (6) ほうれん草・春菊: 播種時期が遅くなるためエンドウ豆に変更('23~): <新規>→枝豆後レタスと混植
- (7) 里芋: 催芽処理で播種時期を早める(4/15→4/4→3/11): 継続・・・桜開花時期に植付け

4. 栽培方法の改善

- (1) えび芋、たけのこ芋、土垂: 3種催芽処理(3/11実施)
- (2) 枝豆: ポット播種をやめ直播('20~)
- (3) とうもろこし: ポット播種をやめ直播('20~)、穴底植えて早巻きを試みるも失敗('23)、'24も発芽せず、'25は透明マルチで発芽促進
- (4) ミニトマト: 全実生苗('21~)、一株二本仕立て+非摘心・つる降ろし栽培 アイコ; 継続・・・・千果('19)は裂実が多くアイコに特化

5. コンパニオンプランツの活用

- (1) トマト: ネギ共植、落花生共植('19~): 継続
- (2) ほうれん草: 春菊・レタス共植('23~)
- (3) とうもろこし: 枝豆共植('19~)

6. 支柱類の自製: 竹を利用して支柱類を自製: ○支柱購入はなし

沼側

区画面積 6.1m×2.6m 16 m <sup>2</sup> 5 坪	① トウモロコシ スナップエンドウ カボチャ	② サトイモ ショウガ ゴーヤ シカクマメ ルッコラ	③ ピーマン・シシトウ トウガラシ ナス・ラッカセイ	④ ソラマメ タマネギ	⑤ イチゴ・ニンニク ジャガイモ	春
	コマツナ カラシナ 日野菜カブ 葉っぱいろいろ	ダイコン 葉ネギ	キャベツ サニーレタス ハクサイ パセリ	サツマイモ エダマメ ゴマ	ニンニク・イチゴ ネギ	秋

城址側

2025年

2026年

区画 番号	作物	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
①	トウモロコシ	◎種まき				●収穫						
	エダマメ			◎種まき		●収穫						
	カボチャ	◎種まき		△定植		●収穫						
	コマツナ					◎種まき			●収穫			
	カラシナ						◎種まき		●収穫			
	日野菜カブ							◎種まき	●収穫			
②	サトイモ		◎芽出し	◇植付け							●収穫	
	ショウガ			◇植付け					●収穫			
	ゴーヤ			◎種まき		●収穫						
	シカクマメ			◎種まき	△定植	●収穫						
	ダイコン									◎種まき		
	葉ネギ									◎種まき		
③	ピーマン	◎種まき		△定植		●収穫						
	シシトウ	◎種まき		△定植		●収穫						
	トウガラシ	◎種まき		△定植		●収穫						
	キャベツ					◎種まき	△定植				●収穫	
	サニーレタス					◎種まき	△定植			●収穫		
	ナス	◎種まき		△定植		●収穫						
④	ラッカセイ	◎種まき		△定植				●収穫				
	ハクサイ					◎種まき	△定植				●収穫	
	パセリ	◎種まき		△定植		●収穫						
	ソラマメ			●収穫								
	タマネギ			●収穫								
	サツマイモ			◇植付け					●収穫			
⑤	エダマメ			◎種まき		●収穫						
	ゴマ			◎種まき	△定植				●収穫			
	イチゴ			●収穫								
	ニンニク					●収穫						
	ジャガイモ	◇植付け				●収穫						
イチゴ								◆ランナー苗取り				
長ネギ					◎種まき				●収穫			

課題と選定理由など

課題

今年こそ草を生かし自然農法を目指す。よい土、よい苗作りをする。  
連鎖障害を気にせず相性のよい野菜を混植し何品目の野菜を栽培できるかチャレンジする。  
圃場周りに緑肥を生かし生物が棲める環境作りをする。

選定理由

自給自足を目的とした有機無農薬の野菜作りを限られた狭い圃場でも連作障害を  
気にすることもなく、食べたい美味しい野菜をたくさん作りたい。

氏名: 宮平 洋美

## 2025年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
春	1 トウモロコシ	○	10ヶ所に3粒播種、虫害にあったがヤングコーンと一本づつの収穫できた
	カボチャ	◎	育苗にて3株植付け、立体栽培にて次々と大小2個づつ収穫 うどんこ病になるもその後も実を付け収穫できた
	2 サトイモ	○	芽出し後、植付け日陰対策の作戦で栽培も失敗 光合成も大切と再認識
	ゴーヤ	◎	サトイモ日陰対策に 育苗にて2株植付け成長の勢いが止まらずたくさん収穫できたが・・・
	シカクマメ	◎	サトイモ日陰対策に 育苗にて2株植付け成長の勢いが止まらずたくさん収穫できたが・・・
	3 ピーマン・トウガラシ・シシトウ	○	育苗にてパプリカと3種類の混植、収穫できるも3種は暑さで枯れる パプリカ長期間実がついた
	ナス・ラッカセイ	◎	育苗にてナス2株、間におおまさり1株どちらも大株となり多くの収穫ができた。
	4 ソラマメ	○	育苗にて6株植付け早めの摘心にてアブラムシ害なく小ぶりながら収穫 豆板醬作ることが出来た
	タマネギ	○	育苗苗にてソラマメ両脇に15本づつ植付け小さいながらも収穫できた
	5 ジャガイモ	◎	芽の出た種芋4個植付け、多くの収穫できた
	イチゴ	◎	ランナー苗から4株植付け、大株となり多くの大きな実を付け収穫ができた
	ニンニク	○	イチゴの間に5個のニンニク植付け小さいながらも収穫できた
	秋	1 葉っぱいろいろ	◎
2 ダイコン・葉ネギ		—	
3 キャベツ		△	育苗にて2種類の植付けサニーレタスと混植で害虫被害もなく生育、定植遅すぎた
サニーレタス		△	育苗にて植付け、定植遅すぎ生育不足
ハクサイ		△	育苗にて植付けサニーレタスと混植で害虫被害もなく生育、定植遅すぎ結球せず
パセリ		—	
4 サツマイモ		◎	5株の苗を植付け、大株に育ち多くの収穫ができた
エダマメ・ゴマ		×	直播発芽するも生育せず
5 ニンニク		—	
イチゴ		◎	春植え苗からランナー子株多数株取りできた
ネギ・ジャガイモ		○	春植え交互栽培、ネギ直播生育中 秋ジャガ小さいながらも収穫できた
ハイビスカスローゼ		○	育苗にて2株イチゴの隙間に植付け、小さいながらも収穫 ローゼルジャムを作ることが出来た

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 —作付けせず

## 課題の結果

今年早い時期から気温が高く、種まき・育苗に今までにない苦労があった  
引き続き、黒マルチ、防虫ネットなどの資材を使わずに草、藁、もみ殻など天然資材を利用した栽培  
同じ圃場で相性の良い野菜を混植と春作と秋作で交互栽培 → イチゴ&ニンニク、ジャガイモ&ネギ  
種からの栽培 → すべての野菜を栽培できた（イチゴはランナーから）

サトイモ栽培に暑さ対策として三面にカボチャ・ゴーヤ・シカクマメを立体栽培し日陰作りを実施  
→ゴーヤ・シカクマメがジャングルの様に育ち手前南側のサトイモは子株で早くに枯れる  
作戦は失敗し上手く栽培できなかったが、光合成は大切との検証が出来たのではないかと思います  
はたまたゴーヤ・シカクマメの勢いに栄養を取られてしまったか・・・

一番の課題である自給自足の作付けチャレンジに今年は36品目育てることが出来た  
有機無農薬野菜を安心して食べるれるのはこれほどいいものはないと恵みに感謝

今期試してよかったこと → ナスの更新選定を一度にせず収穫後に切るを早いうちからすると秋ナスまで長期間  
途切れることなく収穫ができる。（お陰で秋作の植え付けが遅れましたが・・・）

氏名： 沼口和子

## 2025年度特別コース栽培計画書

令和7年2月24日

沼側

区画  
面積

6.1 x  
2.6

15.9 m<sup>2</sup>

4.81

区画	A	B	C	D	E	F
	里芋 生姜	トマト 茄子	胡瓜 春菊	ニンニク (5月~6月) 収穫 落花生	ジャガイモ 大根 オクラ	玉葱 (5月~6月) 収穫 人参 ニンニク (9月植付)
	ほうれん草 レタス	玉ねぎ (11月植え付け)	長ネギ			ニガウリ

城址側

2025年

2026年度

区画	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A		(里芋)						← 収穫				
			ほうれん草 (秋巻き)					種まき→				収穫→
				(レタス)								
B	育苗	(トマト)					← 収穫 →				(玉葱)	
			(茄子)				← 収穫 →					
C			(胡瓜)				← 収穫 →					
						(春菊)					← 収穫 →	
D		(ニンニク)		(収穫)								
		(落花生)										
E		(じゃがいも)										
		(オクラ)						(大根)				← 収穫 →
F		玉葱		← 収穫 →								
					(人参)							← 収穫 →
						(ニンニク)						
					(ニガウリ)			← 収穫 →				

種まき

植つけ

収穫

### 課題と選定理由など

A	里芋 昨年は株間を余り取らず植え付け、大きさに違いがありました。畝3個位と思います。 ほうれん草 冬場の甘く美味しく作りたいとかがいます レタス 肥料と気候が関係すると思います。(育苗)
B	トマト 根周りの細菌の配慮とコンパニオンプランツにニラをとおもいます 茄子 接ぎ木苗と考えています。沢山の実をつけたいと思います。
C	胡瓜 ウリハムシとの戦いかと思います。秋にも栽培とも思います。 春菊 胡瓜の後と秋まきでと思います。
D	落花生 周りの作物が大きくなりすぎ不作でした。今年はずまめに草とりをしたいと思います。
E	じゃがいも マルチなしで作りたいと思います 大根 早めに種まき大きくしたいです
F	人参 人参だけの畝が良いと思います ニガウリ 人参の妨げにならないかなとおもいます

氏名 沼口和子

## 2025年特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
春 1	里芋	◎	沢山の実を付けました
2	トマト	○	甘くて、美味しかったです
3	なす	○	水ナスで柔らかく 沢山できました
4	胡瓜	○	ウリハムシとの戦いで大変でした
5	ニンニク	○	国産のニンニク苗ですがよくできたと思います。
6	落花生	X	毎回栽培しているのですが 実がつきません
7	ジャガイモ	○	沢山の実は限界がある
8	ニガウリ	◎	去年の種まき沢山収穫できました
9	大根	X	大根の種まき 遅くなり 収穫出来ず
10	オクラ	◎	出来は良かったです 早く収穫することが必要です
11	玉葱	○	市販の苗の栽培 腐れが多くでました
12	長ネギ	◎	植替えを何回して 白身が多く甘く美味しかったです
13	枝豆	X	実が大きくなりません
秋 1	大根	栽培中	
4	人参	〃	
5	ニンニク	〃	
6	玉葱	〃	
7	レタス	〃	
8	春菊	〃	

評価：◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ー作付けせず

## 課題の結果

①枝豆	毎回水をかけて栽培しているのですが 葉と茎が大きくなり実がなりません 肥料が関係していると思います
②里芋	今年はサトイモのところに動物の寝床がいつも在り サトイモにとってはどうなのかと考えております
③なす	春の収穫の後で秋なすに枝を選別作業しましたが暑さのせいか収穫はできませんでした 今年は夏の季節が長く そのまま栽培で良かったおもいます
④	毎年 栽培しているのですが あまり収穫ができません 落花生 豆類の栽培は畑の環境も影響していると 感慨ます
⑤胡瓜	春の胡瓜は沢山実を付けました 真っ直ぐ胡瓜はなかなかできません 秋収穫の種は畑から大きくなり 実をつけたのですが ウリハムシにて全滅です

区画面積 6.1m×2.6m 15.9㎡ 4.81坪	沼側					春
	A ミニトマト バジル	B 里芋 しょうが	C ナス オクラ ピーマン とうもろこし	D きゅうり ズッキーニ	E 枝豆 とうもろこし	
	城址側					秋
	A' 大根 人参	B' 里芋 しょうが	C' 玉ねぎ	D' いんげん	E' キャベツ リーフレタス	

区画 番号	2025年						2026年					
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A	ミニトマト バジル	種まき	定植			収穫						
A'	大根 人参					種まき				収穫		
B	里芋									収穫		
B'	しょうが		植付け						収穫			
C	ナス オクラ ピーマン とうもろこし	種まき		定植		収穫						
		種まき		定植		収穫						
C'	玉ねぎ						種まき			定植		
D	きゅうり ズッキーニ	種まき		定植		収穫						
D'	いんげん									定植		
E	枝豆 とうもろこし	種まき				収穫						
E'	キャベツ リーフレタス						種まき	定植		収穫		

課題と選定理由など

- ・ 自分で苗作りに挑戦してみる。
- ・ コンパニオンプランツを利用して、害虫被害を少なくする。
- ・ トマトは毎年青枯病になってしまうので、今年もカラシ菜をすきこんでみる。
- ・ 夏の暑さ対策として、草マルチやワラを利用する。

	栽培作物	評価	コメント
1	ミニトマト	△	12月にからし菜を播種し、4月に米ぬかと一緒にすきこみ、消毒。育苗して、植え付け、途中まで生育良好、収穫できたが、途中青枯れ病になる。
2	中玉トマト	×	育苗し、植付け、成育まで時間がかかり、途中青枯れ病になる。
3	ナス	○	中長ナス、とろとろステーキナス、長太ナス、水ナス、を植えたが、どれも成育よく、たくさん収穫できた。
4	ピーマン	○	生育良好。小ぶりだがたくさん収穫できた。
5	とうもろこし	◎	4/11.ゴールドラッシュを直播き。防虫ネット使用、生育良好。7/12.5本収穫。大きさ、粒入りもよく、味もとってもおいしかった。その後周囲をネットで覆い、害獣被害もなく、実は小さかったが、10本位収穫できた。
6	枝豆	×	湯上り娘を直播き。生育良好であったが、葉が異常に繁って密生し、実入りが悪く、虫食いだらけでほとんど収穫できず。肥料過多であったのか？
7	とうがらし	○	生育良好。収穫まあまあ
8	里芋	○	生育良好だったが、大きさはいまひとつだった。夏の時期に草マルチはしたが、もっと水やりが必要だった。
9	しょうが	◎	里芋の間に植付け。生育良好。収穫多数。
10	バジル	○	ミニトマトの間に直播き。トマトが枯れた後も生育良好。

評価：◎非常に良い○良い△不良×失敗

#### 課題の結果

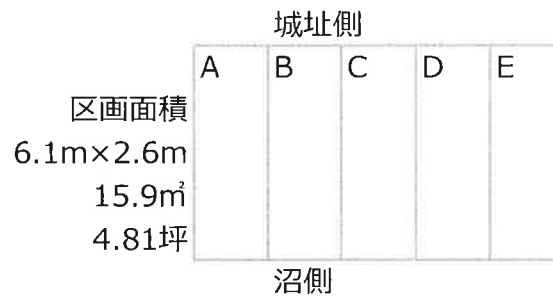
・毎年トマトが途中から青枯れ病になるため、12月にからし菜を直播きし、成長したところで4/26に刻んで、米ぬかと一緒に畑にすきこみ、ビニールで覆い、5/23にはずす。2週間ガス抜きをして、苗を植え付けた。それでも、途中から枯れてしまった。あの畑の青枯れ病を除くことはできないのか？！畑の土に合った植物を育てるのがよいのか？

・畑の周囲にエンバクを播き成長したら刈り取ってマルチに使用した。酷暑と水不足の夏にはもっと水やりを増やす必要があった。

# 2025年度 特別コース 栽培報告書

2025年3月3日

中村おつこ



: 播種   
  : 定植   
  : 収穫

区画	作物	科名	2022年 (月)											
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A	にんにく	ヒガンバナ科												
A	大根	アブラナ科												
B	じゃがいも	ナス科												
B	なす	ナス科												
C	里芋	サトイモ科												
D	さつまいも	ヒルガオ科												
E	オクラ	アオイ科												
計		9 種												

## 課題・選定理由など

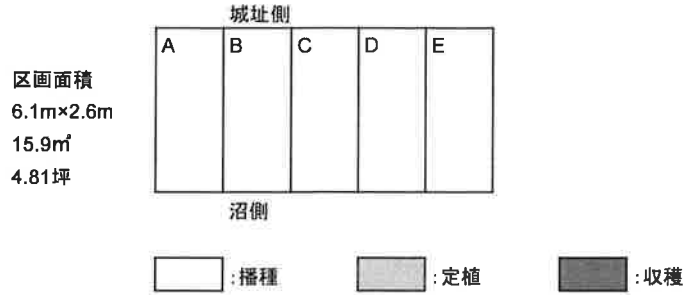
### 【選定理由】

大根とオクラは播種から挑戦

昨年豊作だったなすは今年も栽培

### 【課題】

昨年から引き続き土壌づくりが課題



区画面積  
6.1m×2.6m  
15.9㎡  
4.81坪

区画	作物	科名	2025年 (月)											
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
A	にんにく	ヒガンバナ												
A	大根	アブラナ												
B	じゃがいも	ナス												
B	なす	ナス												
C	里芋	サトイモ												
D	さつまいも(紅はるか)	ヒルガオ												
E	丸オクラ	アオイ												

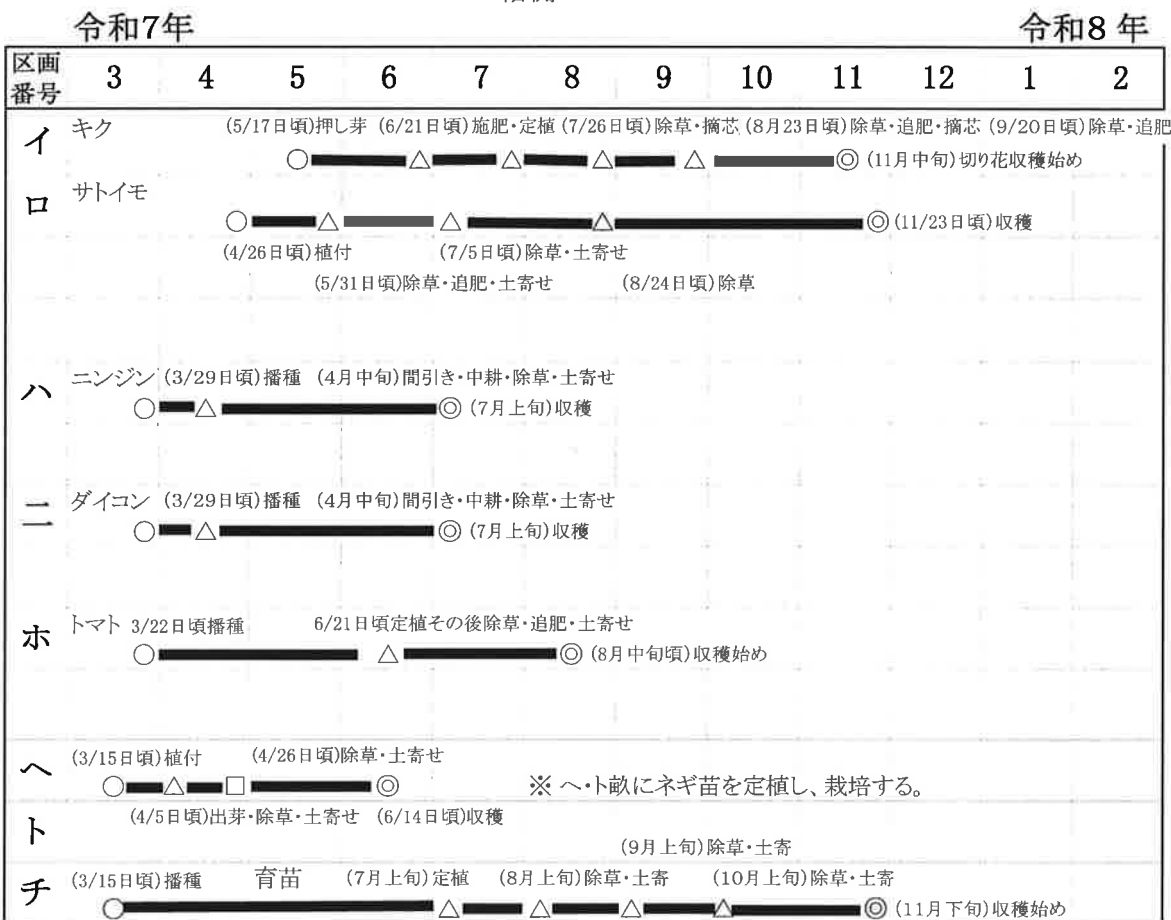
課題とした土壌づくりは、刈り取った草等を活用し微生物が好む環境作りを行った結果、土の塊が少なくなり柔らかくなった印象

6月から10月頃まで猛暑のうえ降雨量も少なかった中で、  
 収量が少なかったもの: にんにく、里芋、なす  
 収量が多かったもの: 丸オクラ、さつまいも、大根、じゃがいも

灌水に加え、遮光、遮熱などの対策が必要だと感じた

城址側								
	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ
区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m <sup>2</sup> 4.81 坪	畝幅 80cm	畝幅 80cm	畝幅 80cm	畝幅 80cm	畝幅 80cm	畝幅 80cm	畝幅 80cm	畝幅 50cm
	キク	サトイモ	人参	大根	トマト	ジャガイモ (ネギ)	ジャガイモ (ネギ)	ネギ苗床
	施肥量 2300g	施肥量 2200g	施肥量 1300g	施肥量 600g	施肥量 1400g	施肥量 1000g	施肥量 1000g	施肥量 300g

沼側



課題と選定理由など

- 1 キク:購入した中キク(切り花)を押し芽により育苗、有機肥料(鶏糞)での栽培に挑戦する。
- 2 サトイモ:元肥を主体とし追肥は、30日後除草時の1回限りとする。元肥は溝肥、追肥は表面施肥。
- 3 ニンジン、ダイコン:岐根、曲がり根がでないよう播種前に施肥のうえ、よく耕す。
- 4 トマト:種を播種、育苗からの栽培に挑戦する。施肥は元肥主体で追肥は状況により行う。
- 5 ジャガイモ:元肥の半分を溝肥、残り半分を表面施肥で栽培し、追肥はしない。
- 6 キク、トマトで支柱を使用、出来るだけ農業資材を使用しない栽培とする。
- 7 施肥量は鶏糞を元肥。追肥は状況により鶏糞又はぼかし肥を施す。

氏名: 浮田敏丸

## 令和7年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
イ	キク		
	5/17日		中輪キクをポットに押し芽、10株(4株発芽しなかった。)
	6/28日		6株を定植
	7/5日		6株定植の内、半分(3株)が枯れた。
	11/22日	×	1株は育ったものの、2株は枯れてしまった。管理が悪かった。
ロ	サトイモ・京イモ		
	3/14日		植え付け(京イモ)
	3/30日		植え付け(サトイモ)
	4/5日		除草・追肥・土寄せ
	6/28日		除草・土寄せ
	11/22日	○	全収穫。一番よいものを出品した。
ハ	ニンジン		
	3/13日		播種
	4/5日		間引き・除草 ※間引きしたの一握りをかき揚げにした。
	4/26日		間引き・除草 ※間引きした柔らかいもの一握りをサツマイモのかき揚げにした。
	6/19日	○	全収穫 4.2kg
ニ	ダイコン		
	3/13日		播種
	4/5日		間引き・除草 ※1ヶ所3本を残し間引き、塩もみにした。
	4/26日		間引き・除草 ※1ヶ所1本を残し間引き、塩もみにした。
	6/19日	○	全収穫 14本
ホ	トマト		
	3/13日		播種
	4/5日		除草。予想外の出芽、ダイコン、ニンジンの後地に移植を考えた。
	4/26日		除草・芽欠き。予想外の出芽で、一畝に2条植えとした。
	6/19日		移植・支柱立て。以後芽欠き。
	7/5日		収穫始め
	8/16日	○	全収穫。
ヘト	ジャガイモ		
	3/13日		播種 昨年収穫した卵よりやや小さいものを種イモにした。
	4/5日		除草 茎が昨年より細く、豊作が期待できなと感じた。
	6/19日	△	全収穫 7.3kg
チ	ネギ		
	3/13日		播種
	4/5日		除草
チ	ネギ		
	6/19日	○	ヘトの畝へ定植。残りは浅野第6圃場へ定植
ハ	トマト		
	6/19日		ニンジン収穫後の畝に計画外として栽培。
	4/26日		移植・支柱立て。以後芽欠き。
	6/19日		播種の全部が出芽、除草。
	7/5日		移植・支柱立て。以後芽欠き。
	8/16日	○	全収穫。
ニ	京イモ		
	6/19日		ダイコン収穫後の畝に計画外として栽培。
	6/28日		ロ畝の沼側に発芽(植えた記憶無し)したのをニ畝城址側に移植・追肥
	11/22日	○	除草・土寄せ・追肥 全収穫。
ニ	マクワ瓜		
	6/19日		ダイコン収穫後の畝に計画外として栽培。
	6/26日		昨年収穫の種をポットで育苗、良好なので移植・追肥。
	7/5日		ウリハムシの被害を確認、栽培をあきらめ放置した。
	7/26日	○	放置したもの、新しい葉が元気に育ち、感激。 全収穫
ハ	【秋作】ダイコン		
	8/16日		播種
	9/13日		間引き・除草
	10/19日		除草・間引き
	12/13日	○	全収穫10kg 16本
ニ	【秋作】五寸人参		
	8/16日		播種
	9/13日		間引き・除草
	10/19日		除草・間引き
	12/13日	△	全収穫 5kg
ホ	【秋作】金時人参		
	8/16日		播種
	9/13日		間引き・除草
	10/19日		除草・間引き
	12/13日	△	全収穫 2.5kg
ヘト	ネギ		
	6/19日		ジャガイモ収穫後地に栽培 定植
	7/5日		除草・追肥・土寄せ
	7/26日		除草・土寄せ
	11/8日		除草・土寄せ
	12/13日	○	全収穫 2kg
			(1) キク1、秋作の五寸人参・金時人参以外は、良作と思う。 (2) キクは、定植後の細かな管理が必要と反省する。 (3) 秋作の五寸人参・金時人参は、ひげ根が多く育ちが悪かった。失敗と云ってもよいと思う。施肥・耕耘後、直ちに播種している。肥料が土壌に十分馴染んでなかった。さらに、間引きの時期が遅く、十分な間引きになっていなかったことが原因と反省する。

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ー作付けせず



氏名: 瀬上照男

## 令和7年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	スナップエンドウ	○	秋植えて行燈で冬越した。春から収穫できたが背丈ぐらいで急に枯れてしまった。収量はそこそこあった。
2	オクラ	○	不耕起・無肥料の畝にタネを蒔いたら発芽したが、成長が遅く肩ぐらいで枯れてしまった。収量はそこそこあった。
3	里芋	○	元肥を入れなかったためか成長が遅く大きくならなかった。。元肥と水やりをしなかったためだと思う。
4	水菜	◎	不耕起・無肥料、条撒きで良く発芽し成長した。間引きながら収穫した。
5	大根	○	不耕起・無肥料、条撒きで良く発芽し成長した。サイズは少し小さいが間引きながら収穫した。
6	小松菜	◎	不耕起・無肥料、条撒きで良く発芽し成長した。間引きながら収穫した。
7	ホウレンソウ	○	不耕起・無肥料、条撒きで時間がかかったが発芽し成長した。サイズは少し小さいが間引きながら収穫した。
8	白菜	△	苗を定植。ビニールトンネルして葉っぱは大きくなったが結球しなかった。肥料不足と定植が遅かったためだと思う。
9	レタス	○	苗を定植。ビニールトンネルしてサイズは少し小さいが収穫できた。
10	ニラ	△	雑草に埋もれてしまい成長不良だったので他の圃場に移植した。
11	ネギ	△	2・3本ずつ植えて分蘖した株を他の圃場に移植した。
12	キャベツ・ブロッコリー	—	
13	青シソ	—	
14	人参	—	

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 —作付けせず

## 課題の結果

- 1 水菜・小松菜・大根等のアブラナ科は良く育った。蒔きどきさえ間違えなければ不耕起・無肥料でも育てられる。
- 2 スナップエンドウ・オクラ・里芋等は成長が遅く大きく育たなかった。粘土質だと耕して元肥を入れないと根張りが悪いのだと思う。
- 3 草マルチが肥料になると思ったがすぐに大きな効果はでないようだ。

区画面積  
6.1m × 2.6m  
15.9 m<sup>2</sup>  
4.81 坪

沼側			
① ピーマン オクラ ↓ レタス	② ミニトマト ↓ 小松菜 水菜 春菊	③ ナス ↓ ブロッコリー	④ スイカ ⇒ 大根
			⑤ 里イモ

城址側

2025年

2026年

区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
①			ピーマン・オクラ					レタス・ブロッコリー				
②			ミニトマト					小松菜・水菜・春菊				
③			ナス					ブロッコリー				
④		スイカ						大根				
⑤		里イモ										

課題と選定理由など

④ スイカ 昨年失敗したスイカに再挑戦です。今回は平場栽培。

① } 夏野菜 (ピーマン・オクラ・ミニトマト・ナス) の栽培後。

② } 冬野菜 (大根・ブロッコリー・小松菜・水菜・春菊) と栽培します。

③ }  
⑤ 課題作物の里イモを栽培します。

※ 課題として、葉物が多いので「虫対策」と考えます。(エトモアザリ等)

氏名: 米田秀雄

## R7年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
①	スイカ	△	平場栽培。株により、ツルの伸びにバラつき多く、受粉後の実になる率が低かった。但し、できた実は甘く良好。
②	茄子	○	長ナスを栽培。成長は遅かったが、夏後半に実を多くつけた。
③	オクラ	○	ダビデの星。大きく成長し、たくさん実をつけた。
④	ピーマン (1と)	○	小つぶながら、たくさん実をつけた。
⑤	ミニトマト	×	ワキ芽を摘みでの栽培。少し時期遅れ。病気にやられる。
⑥	ブロッコリー	×	虫がつき、大きく成長できず。
⑦	レタス	◎	もともと防虫対策としたサニーレタス。大きく成長。
⑧	小松菜 楠菜	○	春と秋に播種。良好。
⑨	大根	◎	肥料控え目、向引きとしっかり行い、太った大根がたくさん収穫できた。
⑩	里イモ	○	結果はすまず。少し深植えをほぐし発芽に時間がかかった。

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ー作付けせず

## 課題の結果

- 馬糞堆肥のすき込みを多く行い、全体的に土壌状態は改善されました。(ゴロンゴロン状態がかなり、きめ細かくなりました。)
- スイカは、上手に栽培したい目標作物の一つですが、中々うまくやかないのが現状です。再度、土壌の排水対策、元肥の割合、防虫対策等を考え再挑戦です。
- 全体的には○や◎と評価できる作物も増えたので、うまくやかない原因とうまくいった原因の両方をよく考え、取組んでいきたいと思っております。

区画面積  
6.1m×2.6m  
15.9 m<sup>2</sup>  
4.81 坪

沼側					
A	B	C	D	E	F
かぶ とうもろこし きゅうり	かき菜 トマト	にんじん トマト	とうもろこし 落花生	えんどう 里芋 しょうが	玉ねぎ
ほうね草	大根 えんどう	ブロッコリー 小かぶ	にんじん		にんじん

城址側

区画 番号	年												
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
A	かぶ○ とうもろこし○		きゅうり○					ほうね草○					
B	かき菜		トマト○			大根○		えんどう○					
C	にんじん			トマト○ ブロッコリー△									
D	とうもろこし○		落花生○					にんじん○					
E	えんどう 里芋 しょうが○												
F	玉ねぎ			にんじん○									

課題と選定理由など

混植、不耕起栽培  
雑草の観察

①	かぶ	△	発芽までは順調だったが、間引きが足りず、成長不良
②	とうもろこし	×	自家採種で、発芽が悪かった 育った実には、ネットボトルを被らせ鳥害防止 うまく防げました。
③	きゅうり	×	栽培せず
④	里芋	○	あまり手間をかけられませんでした。反省。
⑤	モロヘイヤ	○	古い種があったので播種 いくつか発芽 肥料不足でも良く育ったが、葉は小さめ
⑥	えんどう	×	成長不良
⑦	ミニトマト	×	自宅で自然発芽の苗を挿し付け 成長不良 肥料不足
⑧	なす	△	自家採種で、苗作りは成功 その後 肥料不足 成長不良
⑨	ジャガイモ	○	秋ジャガ種購入 小さなながら収穫
⑩	落花生	○	立派ではないが収穫
⑪	大根	△	古い種でも発芽 肥料不足で成長不良
⑫	えんどう	○	大根のすみで栽培中
⑬	にんにく	○	栽培中

イネ科の草ばかりで土がやせている様子

不耕起、無肥料で、草を肥料にしようと思いましたが、草はそう簡単には  
土にはなりませんでした。自分の畑で肥料にする為には 2玉の草刈りによる  
短い草ではいけないと思われました。

沼側

区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m <sup>2</sup> 4.81 坪	E 2 1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	2.6
	①	②	③	④	⑤	
	3~6 じゃが芋 (ナス科)	4~11 里芋 (さといも科)	5~10 さつまいも (ヒルガオ科)	4~8 ズッキーニ (うり科)	4~8 枝豆 (マメ科)	
	9~12 大根 (アブラナ科)		10~翌5 ニンニク (ヒガンバナ科)	9~12 人参(せり科) (セリ科)	9~12 小かぶ (アブラナ科)	

城址側

区画 番号	2025年						2026年					
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
①	ジャガイモ(男爵)(ナス) 植付			→ 収穫			大根(あぶらな) 種蒔き				→ 収穫	
②		里芋(サトイモ) 植付								→ 収穫		
③	ニンニク	収穫	さつまいも(ヒルガオ) 植付						にんにく(ヒガンバナ科) → 収穫			
④	ポット	ズッキーニ(うり) 種蒔き	植付				→ 収穫		人参(せり)		→ 収穫	
⑤		枝豆(マメ) 植付					→ 収穫		小かぶ(アブラナ)		→ 収穫	

課題と選定理由など

5畝5年替える科目違い野菜を選択  
作物と肥料の関係で果実の成果を確認したい

氏名:熊田富夫

## 2025 年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	ジャガイモ(男爵) 後作 大根	◎ ○	脇芽3本仕立て追肥(鶏糞)2回、土寄せ2回で大きな芋が採れました 9/24播種 12月にはまあまあの大きさに収穫できました
2	里芋	◎	品評会1位 この評価を受けたことはビックリでした  一粒の種芋から小芋9、孫芋連なる芋77Σ86ヶ 上出来でした 前任者((宮坂さん(優勝経験有))の指導の下追肥、水やり、土寄せ頑張りました
3	前続き ニンニク	◎	5月収穫 中国産の種でしたが上出来でした
3	さつまいも	◎	元肥は堆肥で 弦3本仕立て伸び放題 土寄せ2回 弦寄せ2回 10/15収穫 
	後作 ニンニク		順調に芽が出て越冬状況
4	ズッキーニ 後作 人参	◎ ○	種はポットまきで移植、良好な出来栄えで食べても美味しかったです 9/14播種 順調に育ち12月に入り2回目の間引きしたものは甘くて美味
5	枝豆	×	5月に播種 元肥やらず 発芽して背丈40センチ位になりましたが鞘に 実が入っておらず惨敗
	後作 小太り大根	◎	9/24播種 順調に育ち12月収穫、甘くて美味

評価:◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ー作付けせず

## 課題の結果

5畝隔連作準備OK 肥料の効き目は再確認を要します  
概ね良く出来  
里芋の1位入賞は想定外でした  
作物の繁殖の仕方が実体験出来、その助けを肥料・水・お天道様の力を借り  
又天敵から守ってあげてその果実を頂く、手を懸けてやる事の大事さを  
教わりました  
有機栽培による食の豊かさ、素晴らしい学びがありました

課題は、水やりと除草 自宅から距離あり土曜ともう一日と思ってましたが  
なかなか野暮用に振り回されて遠のいてましたが足を運ぶ事の大事さを痛感  
通り数を多くする事だと思います

区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m <sup>2</sup> 4.81 坪	沼側				
	畝幅 120cm×5畝				
	春:大根 根菜類 施肥量:	里芋 根菜類 施肥量:	春ズッキーニ 果菜類 施肥量:	春:ナス 果菜類 施肥量:	春:さつまいも 根菜類 施肥量:
秋:春菊 葉菜類 施肥量	生姜 根菜類 施肥量:	秋:カブ 根菜類 施肥量:	秋:ほうれん草 葉菜類 施肥量:	秋:玉ねぎ 根菜類 施肥量	
	あ	か	さ	た	な

	2025年						2026年					
区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
あ	3/末 大根播種				7/上 大根収穫		9/中 春菊播種		11/末 春菊収穫			
か	4/頭 さつまいも播種			どこかで生姜					11/中 さつまいも収穫			
さ	4/中 ズッキーニ播種			7/末 ズッキーニ収穫		9/末 カブ播種		11/末 カブ収穫				
た	4/中 ナス播種		6/中 ナス収穫			9/末 ほうれん草播種		12/頭 ほうれん草収穫				
な		5/中 さつまいも播種					10/末 さつまいも収穫		12/頭 たまねぎ播種			

課題と選定理由など

初めての経験なので自分の好きな食べ物を選定しました。  
 カブは柏市の代表的な野菜なので是非チャレンジしたいと考えております。  
 試行錯誤しながら栽培していきたいと考えております。

氏名： 沓澤 浩志

## 2025年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	オクラ	△	2～3本収穫出来たが、全体的にいまいち。
2	スナップエンドウ	△	全体的にいまいち。
3	ブロッコリー	×	花が咲く迄放置してしまった。
4	かわいい大根	○	10本程度収穫出来、まずまずの出来栄え。
5	大さや枝豆	×	枯れてしまった。
6	早生枝豆	△	さやの中に豆が付かず。
7	ピーターコーン	△	2～3本収穫出来たが、味は今いち。
8	春菊	○	ある程度収穫出来た。
9	ミニトマト	△	何個が収穫出来た。
10	なす	△	2～3本収穫出来たが、味は今いち。
11	さといも	△	大きく育たず
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

評価：◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ー作付けせず

## 課題の結果

3～4月は頻繁に畑に出向き手入れが出来たが、大雨の影響で畑が水没してしまい、作物がダメになった。  
7月頃から畑に行けなくなり、手入れが出来ず雑草の宝庫にしてしまった事は、周りにも悪影響を与えてしまい、猛省しております。  
仕事の関係で特別教室は中退致しますが、復学時には、今年度の経験を活かし、美味しい野菜を栽培できるよう工夫していきたいと存じます。



2025年12月23日

氏名: 石山直子

## 年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	さつまいも	◎	水やり等の手間もかからず"大収穫" 個人消費なら3株程度で"充分"
2	さといも	○	土寄せをもっとせよともよかつたかも。
3	やまいも	○	1株につき1個収穫 さつまいもに比べるとコストパフォーマンス悪いが"美味"
4	レタス	◎	立派なもの"収穫できた。"
5	にんじん	×	古い種を使用したせいか発芽が悪かつた。水につけてから植えてみるのもありか。
6	ほうれん草	—	自宅のプランターで栽培中
7	シュンギク	—	" 寒" せいか発育不良。ビニールで"覆"てみるか。
8	チンゲン菜	—	
9	からし菜	—	
10	こまつ菜	—	自宅のプランターで栽培中。
11	たまねぎ	—	作付けした作物の収穫が遅れ、栽培のタイミングを失った。
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 —作付けせず

## 課題の結果

課題のさといもについては、まず"まず"の出来だったと思う。

芽を下にして植えると収穫量が"増"くと聞いたので、試ししてみたが、すべて芽を下にして植えてしまったので、比較が"でき"なかつた。

周りの方の様子を見ると、土寄せをもっとせよともよかつたかも。

氏名: 西 明子

2022年度 特別コース 栽培計画書

2025年3月1日

区画面積  
6.1m×2.6m  
15.9 m<sup>2</sup>  
4.81 坪

沼側					
A	B	C	D	E	F
ミニトマト	とうもろこし	里芋	さつまいも		
きゅうり					
スイカ	なす				

城址側

2022年

2023年

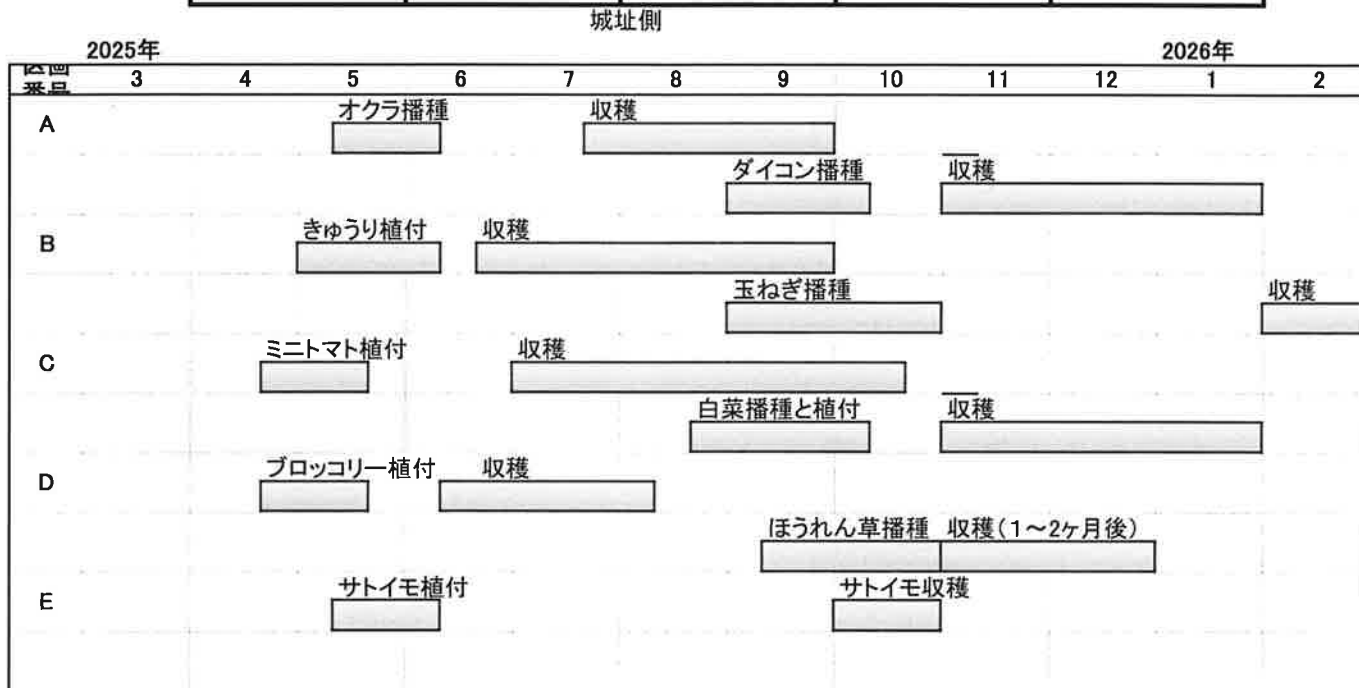
区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
ミニトマト	A	←						→				
きゅうり	A	←						→				
スイカ	A		←				→					
とうもろこし	B	←					→					
なす	B	←						→				
里芋	C	←						→				
さつまいも	D		←						→			
"	E		←						→			
"	F		←						→			

課題と選定理由など

- ・初めてなので、女子きょうねつ作りや可愛いものを中心に選びました。
- ・隙間栽培も考えたいと思います



区画面積 6.1m × 2.6m 15.86 m <sup>2</sup> 4.806 坪	沼側				
	A オクラ (アオイ科)  ダイコン (アブラナ科)	C キュウリ (ウリ科)  玉ねぎ (ユリ科)	D ミニトマト (ナス科)  白菜 (アブラナ科)	E ブロッコリー (アブラナ科)  ほうれん草 (ヒユ科)	F サトイモ (サトイモ科)



課題と選定理由など

- 初めてなので、できるだけ育成が簡単そうなものを調べた。特に春は、余裕がないので、ポットを購入して植え付ける。
- 連作障害はできるだけ回避すべく検討した。
- オクラ 播種する。種をまく前に、一晩水に浸けておく。発芽後、間引き。  
肥料切れを起こさないように、元肥をしっかり。乾燥に弱い。  
収穫が遅れると、実が硬くなり風味が落ちる。連作を嫌う。  
害虫(アブラムシ、ヨトウムシなど)が発生しやすい。
- きゅうり 今年苗から。支柱を立てる。元肥と追肥をしっかり行う。乾燥に弱い。
- ミニトマト 今年苗から。支柱を立てる。元肥と追肥をしっかり行う。乾燥に弱い。  
わき芽を摘み取り、一本仕立てにする。
- ブロッコリー 今年苗から。防虫ネット。元肥と追肥をしっかり行う。乾燥に弱い。  
頂花蕾を収穫した後も、側花蕾が次々と出てくる。収穫が長い。  
気温が高くなる前に収穫を終える
- ダイコンと玉ねぎ トラスト農教室のスケジュールに合わせる。にんにくも少し植えたい。
- 白菜 本葉が2~3枚になったら間引き、株間30~40cm程度、品種によって時期がある。難しそうなら変更  
気温が低い場合は、ビニールなどで覆って保温、防虫ネット、早く巻くと病気・害虫、遅いと寒さ
- ほうれん草 播種する。間引きして株間を調整。酸性土壌が嫌いpH6.0-6.5。大丈夫か？
- サトイモ 先輩の言うことを聞く。
- 太陽光土壌殺菌 暑い時期に透明マルチで覆って1ヶ月ほどおく。からし菜などすき込むと効果的。
- コンパニオンプランツ アブラナ科が虫の餌食になるので特に注意。ネギ、ニラ、バジル、マリーゴールド、タイムなど
- 酸度の調整は、堆肥または牡蠣殻石灰、卵がらを使用する。

氏名：作中秀行

## 2025年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	小カブ	◎	3~4月、直すじ播、間引きに手間取るも順調に生育した。初めての収穫物。
	小カブ	×	6月、2回目を撒くが発芽せず。暑さか、水やり不足。
	小カブ	○	11月、暑さも和らいだのでポット播種したものを定植、また、半分を直播。定植はうまくいくが、直播は水不足で枯れる。
2	ほうれん草	◎	3~4月、直すじ播、間引きに手間取るも順調に生育した。かぶと同じく初めての収穫物。
	ほうれん草	○	11月、暑さも和らいだので直播、順調に生育しているが現時点で収穫までには至らない。
3	キャベツ	△	3~4月、ポット播種したものを定植。順調に生育したが追肥後に生育が止まる。丸くなったが小ぶり。
4	芽キャベツ	×	上手く成長しないし、脇芽が出ない。がっかり。下葉を刈り取るとった後で食べてみた。美味しい。
5	ブロッコリー	○	ポット播種したものを定植、頂花蕾は大きなものが収穫できた。しかし、期待した脇芽は出ず。
6	スティックセニョール	×	9月にポット播種したものを定植するが、全てネキリムシ被害に。やり直したが時遅く未だ収穫できず。
7	ミニトマト	◎	100均商品であったが、順調に育ち、多くを収穫した。飽きたので最後はジャムにして消費。絶品。
8	ナス	◎	始めはあまり生育が良くなかったが、夏になって急激に成長した。9月まで順調に収穫ができた。
9	きゅうり	◎	始めはウリハムシの被害にあうも、アルミ箔や銀テープで防御した。夏になって順調に収穫できた。
10	モロヘイヤ	◎	新芽を取ることで脇芽が大きく育つ。夏の間ずっと収穫できた。少し植えすぎたので、程々が良い。
11	スナックエンドウ	×	3月直播、植える時期が遅かったが成長した。途中からうどん粉病にやられる。ほとんど収穫できず。
12	サトイモ	◎	夏までマルチを使用。順調に育った。自分では満足。水やりと土寄せと追肥を早めに心がけた。
13	生姜	◎	頂いた株を5つに分割してサトイモの脇に植える。大きく育った。
14	オクラ	◎	隅に3本植えたが順調に生育、収穫もそれなりにできた。アブラムシ被害が多い。
15	ダイコン	◎	10月直播、順調に育ち収穫もできた。大きい野菜なので難しいと思ったが案外簡単であった。
16	白菜	◎	10月直播、順調に育ち収穫できた。ただし、大きいものと小さいものが混在。密植過ぎたか。
17	たまねぎ	?	11月ポット播種から定植、未だ、芽が弱々しいが順調に成長中。
18	にんにく	?	11月八百屋で買った青森産のにんにくを定植、順調に育っている。来年が楽しみ。
19	ベビーリーフ	◎	隅に直播したが、たくさん収穫できた。雑草が交じる場合がある。
20	サラダ菜	◎	ファームで販売していたものを購入。周囲の葉から取ることで、長く収穫できた。
21	ターツァイ	◎	未だ収穫の途中であるが、成長したものは30cm以上の大輪となっている。冬でも良く育ち、簡単である。
22	さつまいも	◎	サトイモの横のスペースに昨年の芋から芽が出ていたのでそれを植えた。期待していなかったが収穫できた。
23	万能ねぎ	○	虫よけのつもりであちこちに播種、成長したが、ほとんど収穫はしていない。
24	ニラ	○	虫よけのつもりであちこちに播種、成長したが、ほとんど収穫はしていない。

評価：◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 ー作付けせず

## 課題の結果

プランター栽培以外の経験がなかったので、一人でやる農作業は初めての経験。先輩の話を知ったり、Youtubeを見たりして、見様見真似でスタートする。

春野菜は概ね上手く言ったように思う。ただし、キャベツとブロッコリーは追肥のやり方が悪かったのか、途中からあまり生育しなくなった。来年の課題である。ナスとキュウリは途中生育が止まったが、リーダーから指導された追肥した。結果、見事に復活して実を良く実らせた。飽きるほど取れるので植える本数は少なくとも良いと思う。ミニトマトも良くとれたが、後半、タバコガにやられる。実をやられるのは多少我慢しても、花を全て食い散らかすのはいただけない。対策は日の出の前に幼虫を見つけて駆除するらしいが実践は中々難しい。サトイモはマルチを使用していることもあり追肥をしなかった。今後は夏前にマルチを剥がして、追肥と土寄せをしたほうが良いと思う。

夏が長かったので、秋冬野菜への切り替えタイミングが難しかった。早く植えても暑さで発芽しなかったり、乾燥で枯れてしまうようだ。さりとて、のんびりすると冬に向けての成長が悪い。夏は虫の活動が活発で、ネキリムシ被害にあうと全滅するので辛い。やり直しても時期が遅れてしまう。秋冬野菜は、できるだけポット播種して、ある程度成長してから定植するのが良いだろう。来年の課題。

マルチと防虫ネットをよく使用した。マルチは地温を高めるので寒い時期には特に有効だと思う。また、雑草を取らなくてよいのは良い。一方でマルチや防虫ネットの脇から生えてくる雑草は取りづらい。防虫ネットは虫よけに確実に効果があったと思う。まあ、少しは紛れ込むが。

土作りは、初期の段階で馬糞と牛糞、鶏糞、卵の殻を使用した。追肥はあまりしなかった。野菜次第であることを学んだ。土は、途中からスコップを深く入れ耕すようにした。下層はカチカチに固結している。上層と下層を入れ替えるつもりでやる。下層は固結しているので砕くのが大変である。また、土の消毒を心がけた。透明マ





区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m <sup>2</sup> 4.81 坪	春 ①	②	沼側 ③	④	⑤
	枝豆 (4~7月)		落花生 (5~11月)	しょうが (4~11月)	里芋 (4~11月)
	秋 カブ (9~12月)	秋 ブロッコリー (8~2月)			

城址側

2025年						2026年						
区画番号	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
①		枝豆 播種			→ 収穫		カブ 播種			→ 収穫		
②						ブロッコリー 播種				← 収穫		→
③			落花生 播種							→ 収穫		
④		しょうが 植付								→ 収穫		
⑤		里芋 植付								→ 収穫		

課題と選定理由など

特別コースでの栽培は初めてだけど、他で火田を借りてやっているんで、なるべく手のかからない野菜を選定した。春~夏作が多めなので、暑さで土が乾かないように草マルチで栽培をする。基本的に種から栽培をする予定だが、天気によって育苗や苗を買って植えるようにする。

- ・ 枝豆 虫対策として防虫ネットをかける
- ・ 落花生 鳥対策として最初のうちは、不織布か防虫ネットをかける
- ・ 里芋 土を乾燥させないように厚めに草マルチをする
- ・ しょうが 隣に里芋を植えるので、里芋の葉、はで陰をつくる。厚めに草マルチをする
- ・ カブ 春作で枝豆を栽培するので、根粒菌の特徴を生かし、なるべく耕すに栽培したい
- ・ ブロッコリー 夏に種まきなので、育苗してから植えたり、日差しを和らげる対策をする

氏名: 小澤 珠実

## R7 年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
1	枝豆	○	収穫するのが遅くなってしまったけど、なんとか実も大きくなって食べるのができた。
2	落花生	◎	大きさを植えたが、大きさも味も良くて良かったと思う。
3	里芋	△	追肥は2回行ったが、全く大きくならなかった。
4	しょうが	○	なんとか収穫はできたが、もう少し大きくなっただけではないかと思う。
5	カブ	◎	中くらいの大きさの物がたくさん収穫できた。
6	ブロッコリー		栽培中
7	さつま芋	△	大きさは、まあまあだったけど、表面をたくさん虫にかじられてしまった。
8	人参	△	ほぼ発芽はして、大きくなったものも数本あったが、ほとんどが小さい感じだった。
9	ミニ白菜	◎	ミニ白菜とはいえ、それなりに大きく、中もちゃんと巻いた物が収穫できた。
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

評価: ◎非常に良い ○良い △不良 ×失敗 —作付けせず

## 課題の結果

- ・枝豆 — カムシ対策として防虫ネットをやったが、それでも数匹は見かけた。さやに黒い点があったが、実は大変だった。
- ・落花生 — 草対策として、草マルチで土の表面を覆ったので、株まわりの草はほとんど生えなかった。収穫間近で少し鳥等に食べられた跡も見たが、それでも大きい物がたくさん取れた。
- ・里芋 — 追肥は2回行ったが、最初から最後まで全く大きくならなかった。土寄せや、肥料分が足りなかったのかもしれない。
- ・しょうが — 里芋の葉が全く大きくならなかったため竹で日陰を作り、草マルチもやったので、そのおかげかは分からないけど、収穫できて良かった。
- ・カブ — 播種前に多少のほかしは入れたけど、枝豆を栽培した場所だったので、少ない肥料でもちゃんと育ったなと感じられた。
- ・さつま芋 — 全体的に表面を虫に食べられてしまった。
- ・人参 — 大きくなった物もあるけど、小さいものも多かった。播種する時期の気温や地温などによって全くできが違くなる事が分かった。
- ・ミニ白菜 — おお程度大きくなるまで、あえて間引きをせず、なるべく葉を広げないよう栽培してみたが、以外とそれが良かったように感じた。

(20) (120cm) 沼側

区画面積 6.1m×2.6m 15.9 m <sup>2</sup> 4.81 坪	A1 サツマイモ	A2 カブ	A3 オクラ	A4 エゴマ	A5 サトモ
	B1 (同上)	B2 ナス	B3 シソ	B4 ビーツ	B5 (同上)

城址側

区画 番号	R7 年						R8 年					
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
A1			植 付						収 穫			
A2		播 種	間 引	間 引 追肥	収 穫							
A3		播 種		追 肥	下 草 刈 草	収 穫						
A4		播 種	間 引 追肥									
A5		植 付							収 穫			
B1			植 付						収 穫			
B2												
B3					播 種			収 穫				
B4							播 種	間 引	間 引	収 穫		
B5		植 付							収 穫			

課題と選定理由など

サトモ	植付 → 収穫までの流水は、60cm と思う。(課題1)
サツマイモ	二種類の新入付と方法を試したい。
エゴマ	マメ目マメ科が紅腐 抗酸化、ビタミン(C・E・B1B2)、食物繊維、カルシウム、鉄分豊富。夏は涼感。
オクラ	ペクチン、ビタミンB群、胃腸を整える。
シソ	シソ科シソ属 解熱、鎮痛効果。
カブ	アブラナ科アブラナ属(越年草) 胃腸の働きを助ける。胸やけ解消(アブシド)
ナス	ナス科ナス属 鎮静作用が強い。睡眠促進効果。
ビーツ	ビーツ科 ビーツ科 葉酸、ミネラル、ビタミン豊富

氏名: 河上 大志

R7 年度 特別コース 栽培報告書

	栽培作物	評価	コメント
①	1 イグマ	○	播種 1. 後に不織布で覆うなどの処置が良かった。摘心とうまよと球の果実の成長を促せると思う。全体のほうは良く育っていたと思う。
②	4 レタス	△	3株ほど播種したが成長したのは一株ほどだった。暑さのせいか少し播種が早かったのか大きくなる。下株は収穫に近づいた。
③	6 サツマイモ	○	植え付けた苗が2種類。ベニアズマ、シルクスイート。丁度雨が降った後に土が少し硬かったからしっかりと耕されたと思う。高畝にしてマルチを敷いて苗を植えた。ベニアズマの方は船底植え。シルクスイートは垂直植えにしてみた。夏場に蔓這いして何度か試みた。収穫ではサツマイモは一部が黒くなるという物も育たず少し細い芋が多かった。かわいらしい。今後の参考にしたいと思う。夏場の雨水で冠水しか、新しい畝間に暗渠を掘った。(隣の圃場の方にアドバイス頂いて。見れば月には埋めてあります。枝や竹の根が敷いてある。) 少しだけ他の畝と水のけの良さが違うと感じた。後、水がうまくなる。かわいらしい。
④	16 サトイモ	○	課題の作物だった。土寄せと除草と草刈り程度。成長課程がいつも順調に思えた。収穫した芋はどれも良く出たと思う。
⑤	18 オクラ	○	苗が枯れたから植え付けた。おろちとカリという種があった。茎がドンドン太くなる。オクラの实(果梗)自体は非常に沢山成った。少し硬めで大きい物が多かった。成長が早く、収穫の頃には食べるとはとうとうしてほうの。苗の数は2-3本で良かったと思う。

評価: ○非常に良い ○良い △不良 ×失敗 一作付けせず

課題の結果

⑥	ビーツ	△	苗は自分で育った。3株ほど播種したが2株欠損になった。一株は少し小さいが、小芋程度の物を収穫した。
⑦	カブ	×	夏場の酷暑のせいもあるのか、すべて失敗。苗が育たなかった。
⑧	ニン	—	今年は、作付けせず。

課題の結果 : 目標通り、やり通りみると自分自身のやり方や周りの人の助言とで次の目標も見えた。収穫に至らず作物も育たなかった物や失敗した物を今後の教訓にしたい。"楽"を目指したい。